少一日で在城各局等値を個々に接見、一能に復身、經驗を力量く述べた。

としての半恩能治に関する大方針 き殿積なる初期示を行ひ、新総督

別下二とことで、 本が問題員一同を代表教しまし 内外局題員一同を代表教しまし と存じます

ります、朝鮮被治に関する関下の御方針は満月貿気に於ての御を開発したのであります。 河を解释したのであります、 河野なの唯へ見事との対象が、 上海不可分間係に於 の前勢よ、月海不可分間係に於 で観客の加く、北外朝鮮に放空 の前のようなのが、 ではないであります。

『ニューヨーク廿六日間盟』ニューヨ

政務總監答辭

竹内部局長、建水城大總長の順大所贈宮署長五十一名を集め、大

本府(各局長、官房瀬長・在成第一・議案で本府全職員に對し加項の加型の後午前九時十分から總督案に「経つて午前九時半から本府第一部

个言實行·去華就實

嚴肅に吏道精神發揚を强調

**南總督、初登廳訓示** 

り少趾の後午後二時五旬令官・師一日の趾の後午後二時五旬令官・師一日宮郎に跳りの臨時

年司令官、三宅勘解長の東訪を受 一に闘する大方針を明べする歌言

を中外に超表し、

同十時十分小發

は他々思読の後十時三十分より第

なし着任第二日の日程を終つた

治師、否鞭を

朝鮮總督

が、唯だ哲学はとして何たに於ても必要なな、は思恵、販売自らを持するの信令、態度と、以で幾年に借いる民人計画の東域となって、は思恵、販売自の東域となって、当時に関する間でも終末しつつるののであります。当君は全世界と変化するに就て、不舒の工夫、首会と機構とを悪化するに就て、不舒の工夫、

国地面船は大亜政務建盟を銀監選を銀票で、それより外

「特殊とも宣しく御難ひ申しま

め阿策七項目を決定複変したが政府は應受革新の獲を銀げるた政方衡の安徽幹事長を訪問 は二十七日午前九時集職の私邸に 援を必要とするので臨済郡配官長 決定具體総作成を急いであるがこ

またも宝支外交に結び目が つふえた

成都の形人を終事に 天地支黃

に前ひ晋世に動する被感を表した

とて國策七項目の内容を説明、協

が、唯だ官公記として何人に於ても必要が、唯だ官公記ともて何人に於ても必要をへものなることを念ひ、敢て累営を要接へ、故諸君の誠心あり、能率ある働きを立能が諸君の誠心あり、能率ある働きを立能が基める。

れが無現のためには成民国際の支 【東京監論】政府は開放上項目を 聞記者監と信見後同于則十時四十

温知器管は廿七日午旬十時在城前

内黛に 諒解求

もつ

でさらよ。もつとやそつとの思り

翰長 先づ安藤氏訪問

協力を製造する後定である。

「背中に何が耐いてったれる

本日朝夕刊十六頁

た無調なことを

きんに貼してや のおころ女郎の

界の先で手を振

局長會議

#型に銀貨、図査張査、 矢部監林 ・ 大型に銀貨・図査張査、 矢部監林 て統三十分間にして配合せ去の部長から今回の水割脱記事告があつ 武田縣、內路、學路、養母三局

(27)

神保

世繪

枝

作

100

でそんなものを踏む

描いたいわら

言を終へて十一時散館した 甲子俱樂部懇談會

わが南進への對抗

政府に近く騒落艦二次、潜水艦)かれてゐるオランダ戦府の積極低政として試目されての仮の弧道に著手する魔症であ、南方院領導低級として試目されてのため既に近文したドルニエ飛。ゐる

境地ヲ洞觀シテ、資源ヲ開發シ、民心ヲ啓沃シ、治ク眞ニ雄强國民トシテ閒然スルナキ生スル使命ノ益大ナルモノアルヲ惟フ。即チ人的、物的ノ兩要素ニ亘リ、乃鮮一如、鮮滿相依ノ

基タル日滿一體ノ宏圖ヲ遂ゲ、兩國同榮ノ實ヲ培フハ之必須喫緊ノ時務ニシテ朝鮮ノ負而

ニ時運ノ推移ニ應處シ、民意ノ所在ヲ尊重シ去華就實ヲ本旨トシテ使命ノ遂行ヲ愆ラザラ

**鶸内官民夫レ之ヲ諒トシ邦家ノ爲協戮ノ誠ヲ寄ムナカランコトヲ。** 

南

氼

一會議提唱か

 $\exists$ 

ーク・タイ

ス報道

パパイン

解薬

現クレー

L

お化粧下に

を與いてゐる。右はニューローク・タイムス紙ワシントン支局ロ

本總督へ統治ノ前緒ヲ繼ギ、施爲ノ先蹤ヲ履ミテ其ノ適正ナル發展ヲ期スルハ勿論、

増進ニ努メ以テ物心ノ兩全ヲ期スルニ在ルハ言ヲ須ヒス。

**ヲ認識シテ人和ヲ敦フシ、文化、産業、經濟ノ凡ユル幾運ヲ促進シテ民度ノ向上ト公益ノ** 

**力ニ俟ヴモノ多シ。而シテ斯ノ精神ニ則リ斯ノ理想ニ赴クノ途ハ更ニ大ニ皇道國家ノ本然** 活ノ基準ニ達セシムルへ、蓋シ統治終局ノ理想ヲ顯現スルノ所以ニシテ、猶今後異常ノ努 統治者、皇欧ヲ奉體シテ只管総策ヲ施スコト二十有五年、今ヤ政果大ニ擧リテ舊來ノ面目始

**聖詔ニ澄由シ、大綱夙ニ定マリテ動カズ、始政以來歷代ノ** 

茲ニ朝鮮總督ノ大命ヲ拜シ、任ニ莅ムニ當リ所志ヲ示シテ縣內官民ニ告グ。

抑朝鮮統治ノ宏謨へ併合ノ

ドー鍵セリ。然リト雖モ、現下世界ノ情勢比比险思ニシテ帝國ノ處遇亦容易ナラズ、内ニ大

「國民精神ノ陶冶、経濟質質ノ强化ヲ以テ國民的能力ヲ振作長蹇シ、策ネテ東洋和平ノ根

本版四時局以前語は新語音を呼

絵び初めて、斑りの雪もことばか だ。それも生やさしい日壁の日溜り。早味の極が添く 『描いたんちゃアね りは拭ひ去つたやうに解け蓋して「プ田米れる仕事。何んの「好」といい白壁の日海り。早咲の傷が添く」「満いたんちやアねえ。野つたんい白壁の日海り。早咲の傷が添く」「満いたんちやアねえ。野つたん 割り置けてゐた芸男の嚴則が、 腰へ手拭を挟んで、舞りに寄を

彫ったものに違えな

おらが何んに えんだら はれる。歴とした名うての名人が

所の棚全と喋り置けてゐた。

なんぞを馬鹿

品許特賣專

南連政策を誤解し恐日病に取り悪 と観表した、右起表は限近日本の かりのとつちやアねえか。」 えにも似合はねえ、そいつテ手拔 米たといふ、可愛らしい男よo』 が、見わえものア見わえといふよ 「早見早開きを目前にしてるおめ でうんにや、おらア見わえだ! 『手拔かりだかなんだか知ンねえ 「ゆうべ森山がどつかから拾つて 仕方がねえでねえか。L もんでわる。てえげる馬鹿にしく でねえよ。十六七の若い歌が、離 に組まれたつてそんなことをする

でるんだ。仮道にや日が暮れねえ と思って、たいさ こそ、わざくしおめへに知らせて とこの二つの配で親んで來たからなるんぢやねえや。おれてちゃん やつて陽気な 質の儲けにも



あれを見ねえなんて、そんなこつ 「何か廻つた様子でもしてゐるだ むやア出世は出来ねえば。 「理程でまずその通りだらうが、

楊宝な面は生れ たんでたアロ

平和製廠の開催には最も適當の階機と考べてをり若し来年大統領に 個當時と異なり現在は平和時で、原復國主酸散國もない、從つて世界

就任する場合には好機を堕せず鬱澈明催に努力する意向と報ぎられ

だがたんだが極切、お 併かにくつても 似をするばつか がめへの方ちや 口を祈きやア

「女中策を寄越されえとう」 るおが確は、形なヒンなつちまか れやおめへに來 診断の女中衆 た。か当りこ

「ふッ、そんなことをして見る。

おらの方にも気情があるだざる 安心して奇麗になれるからです。
東部する作用が健本記より
源口・頻響する作用が健本記より
源口・頻響する作用が健本記より 毎年一特に一昨年もと り、一層の樂しみが家はへます。郷品の盛い香りと親かな使い心地 見はアモンババヤが繊維 去年の夏も バカス・シミ・日ヤケ なんとならば…

れ、腱いニキビ痕がつきません。
なけて肥明排泄管から原法よく腹でなっ、炉管でも脈搏泄管から原法よく腹で、変せて・脈搏泄管から原法よく腹で、変せ、をはいる。 ニキビ・吹出物

が第一番といふ評判であります。 お客一番といる評判であります。 として家佐殿が副を祀を楽しく、しかもからの歌佐姫を楽しく、しかもからにはずモンバイヤが第一番といる評判であります。 樂しい海も山も…

一十七銭共和の地方は四十二銭金、製品度・園気を内地十銭・疫権・製品度・園工十銭・疫権・ 振音 東京 東京 東京 大四ス一 を式音社 杉 田 商 で を式音社 ド 田 商 で 見本進星、坂舎、野町子 小間物店・各雑総就代理部にありてデバート・化粧品店・売店または 香品店

區劃案成

# 切解市場地形成や版に施行規則は | 決定することとなつた。この決定 | 数は昭和九年十月中切に於て徴以 | その他、御路閣、電柱響を考慮に 京城市町地計産財務網及土地原制整理施行地原決定に関する本府市街地計賞委員會の略問条規示に上

■京城府では卅一日午後二時から形間を招集。右に関する答申議決をたすこととたつた

戸域地部駅中の街路線、土地域、れ5年の大船を送てたものである 日祭の大京城の根本をなす京城 連龍城柵、姓栗、阪生を考慮に入

**桁部の客申によって題に検討の上。 増加三、五五倍と推定しその容通** 

の出意を思ると脳路は本版正一である、次に大数第一類に腕する一つに変しませば、

清溪川は暗渠に、

上は消路

の12千百七十米の四線を巾員三十四日米で東に東大門から清坂里郷南まで「十四日米で上上工里大門までの五百六十米」二百二十八線。延長度に三十萬九として東大門までの五百六十米。二百二十八線。延長度に三十萬九

数の試験を行び、詳細な調査によ

切から一萬圓を投して超地俗の延

問動が理論行地原決定に伴ふ工場

嵐が來る

際によると筑城府の人口、交」城府内合所で行つた平均交通道は 

街路延長卅萬九千米突破

上を京都にする。 | 定されてゐる、全欧殿に取って応見を其故する清潔川を眼壁にして、これと共に土地區勘察理坦底が決果、新総町から上球中里、下鉄十一度撮を助けることとなってゐるが

明解神宮下を扱け吉姆町二丁目

子二言八十米の幅員十二

緊迫路の中心十九ヶ所に

鐵道局内をうろり

血液を浄化せば根本から

治因痛

大變です。

知っておかねば

解荒しの怪漢

ピリオ新装賣粉白粉(十二色)六十銭

つに天使

天 天 使 編 綿

爾微鏡をみてから買ふこと
か自粉は必らず一度自分で
もでの粉白粉は危険です。
までのお白粉は危険です。

廿六日午前零時廿分班鑑道局守断 見られる。前廿六日飛行機で急行

明逝の見込みで目下局景目動車で「日選過ぎから帰くなりだし海上で 先づ調査を大々的に行ぶ は際に時化る、原城は京畿道内陸 引き渡した、腹調べの結果金老品 盟」席都悪難選佐職简氏の留守宅ったので税闘の上取押へ即山崇に 佐藤氏 [漢ロ廿六日同に現行せんとする途中で選走を諡 都に入り眞朝調逆に書る部 に逃行せんとする途中で逃走を縋 中に行動不識の男を選択で俯詰的、田部町主田新田氏は今明日中に成民状寒治氏が消費部不部内を延回した関本同盟特が収離に強寒漢ロ 遂に森氏へ 島氏の土地

上業用水

風雨が強くなる。何は一些なくら層地、中部、北部に蠡風があらはれ

がの土地はその後銭多のいきさつ 騒がれてゐた意城新島町の六千餘 光年大阪の島氏の土地問題として 込みで脳軍取闘中である。たがなは睥荒しの條罪多數ある見 芸合室で黒英柳一個と前入りが ・一個を持ち逃げしたと自白し 三和途縣等でで一両夜点地礫三一起した電報が夕利的者にた、右に地茂長回茂段里生れ住所不定即「に對し二十六日午後一時暖命より

生命には主体ないこと無明した。

感謝の聲高血腥を色を治療するも罪に一時まで交え元以上

用心なさい

風が現れた、原則が強くなる。本一 避炎——陈城(京歌鱼近新都に助廿七日午前九郎三十分京城河候所

出双で斬

真螺食器五個を持つて逃げ出す。丁を振りかざして難りかかる怪族 近、薬油阿迦古が観点記録出の門 芝氏の顔面に斬りつけ圏外の重断 突如向直り 場際で 周朝周家には人水炊場かり出水間れ住所不定制料二犯廉征明(ごご)で

んとするのでの能かのとどなるやと接続発に加へた、原境を傾町生

勇敢な警官二人格闘し捕ふ

八木彩霞氏

油船と俳書展

曠野の彼方

中根式架條捲揚機械

口機汽鋪高壓刪筒土木建築鐵工用機械工具

上張所 | 放城增大門、周東大門、獨古大門、周本町 東京 下遊、平遊、中國大門、周本町 東京 下遊、平遊、中國大門、周本町 東京 下遊、平遊、中國大門、周本町

本 店 京城府南大門通一丁目十四番地

競響の電気域: 二〇五零

里 ケ 濱

城中ガタンといふ物背に主人姜比 作氏(4))方では降り注ぐ雨の音に 征境も何の街を随がす。 廿七日朝

人が良き心地で朝の一騒人りの

ル時頃京城邑僧町三二の一五姿和

が脱いて目を発ませば一名の怪俠

遭難邦人の詳細

なほ判明せず

天龍ながし 大島くづし

が経十叶 一・五〇

"特器商會

脱酸川上 漸先生り

岩、 単三世版 はた。 宿便

京城岡崎町

中中世最新型コンクリー根機械合名會社

ナトレス灸

死體 廿七日朝七時以京

全般天氣豫報四

最が支那人の手を証で打たれた は、行は死を強れた樹樹であるが

か戦は支那官域が異君の外部に洩とあり意識明朝なるも相當の重ば 「瀬戸遊艇せるも無事物言へず」 あるためか代館の乱報らしく歌に

しく田中氏以外の住死はなほ不

配数な人権があった。右に依れ

全北/北方石東 出席北弧く かにんだり 環の風稽 かぶんだりた

削

大大戰獎問西出 弘 所

入籍情 四二十四

配留閣・北西・園田 北の風を東

于 湖 湖 河 午午午午 安町 安町 部蔵北 東の 風 耐が砕る機関北 北乃 至 大温は機 仁川の潮時の

は、対域関係は出し非土民左の五ケーで繋がに努めてゐる。 なま地が地域では、東京の地域で不能となります。 一般人主田 部線 一路東江三流 五時別は不道となったが観響の見場で事に努力中であるが今なほ産一種間切取り解説、雅林英雄未開始し込み立たす。

で野戒に努めてゐる

|雨中のため水野間所は脳出の模様||三百米線路上に仕センチの浸水で

故障更に増加

迎日の発雨のため層鮮地方の各種

してゐる。南が半點を要ふ水の脅威 - 黎に中部以南の人々は十分一の地方。高穀和を出し、驟剛斯は原南地方に顧知かあると韓級を出の地方。高穀和を出し、驟剛斯は原南が地くなる、全流,直域兩海縣所は韓国和、有力だ然がで南部一番に緘黙を飛んさらだ。蔣州縣洞縣所は韓国和、

世六日平復七四頃原域続江道十二一て県町の品を高僧に取付たりま

鮮各地に戦まつてをり蘇維取調中 金を詐欺したりしてゐた被略は全

氏の漢目の留守宅に廿七日第一電し

日間出一成都で連続した潮戸向上

かる全恐れて一切の事情を知ら

瀬戸氏の「西北世界小原形元堂へてまる

飛行場だめ

遂に龍山署に捕る

◆同種湯山、管州間、耳川、昭城 して地方の官舎その他を歩き舞つ

の他有名隔店進物部の名利を予

漢江各地の水位

増がを見てるるが廿七月年前九

より沿走路が飲場となり飛行機の た、前長州飛行塩は今回の豪雨に

石垣、家を壊す

慶全線、松麗線等に

九ケ所の不通

**東へ方向を終じたため奥に強力を喰大、今戦は高州郡に楊柳し相當にあり、中心小度七百川四ミリ、時望士キロ、連路を北北東から北** 

、中心小度七百川四ミリ、時望十十日、迦路を北北東から北 圏内の朝鮮の天涯は遊職、京に地方は之前に甘大八日半前六時から二四度年、北壁三十度、即ら上海州方帯上三、四百キロの納合 副無軍門は道派神に重めき、日本海に河流のなを作つてある、颱風四度年、北壁三十度、即ら上海州方帯上三、四百キロの納合 副無軍門は道派神に重めき、日本海に河流のなを作つてある、颱風

攻め寄せ來る颱風

今晩は玄海襲撃

切取的部し列船は「郡北号山間行機中で、頭に「郡北、院北間

の切成が深る二来ばかり決議・一選続・美坪、暖間間約四

時項但例の推定である。下巡近一名図書一名は軍医外交管

麻臭湯曲にと共に二十六日午後前 のほめ志改道を領事館跡に否長以

名員関した、恢復大策飛行戦で 中四月顕世に襲撃され一行中三 総事別所に

盟」成都に於て遊離した神器性は 田中武夫氏より廿六日夕利上海面

際のだめか岐は手の自由を失つて

が入った、右によれば顔戸氏は観

田中氏「華芸島

**心波重慶署長成都** 

行機で成都に向ひ

事中であるが甘七日中には一部砦の豫矩である 大商店員と詐稱 二人づれで悪事

**角鮮方面は警戒を要す** 

けさの様子は猛威の心配

岩松領事の陸地地域作地を破祭

月田藤三郎氏

その極めて有望なるを我國當局

解國木浦征號を命ぜらる人や同地

**若松兎三郎氏** 

強したる功勢は盗し物からず

の樹作狀況に鑑み米國路地構の

作文場長となり前米二十年間標花

明治四十五年御業核的場大浦橋

**膳々その間を外務省に具申すると | 陸地樹師子の馴伝・または寳波等地培可能なる、さ概念を抱き爾來 | に関する試験、調査及新規整入の** 

ともに民間有志に励鋭、更に明治一惨殊の強力を挑ひその間これ等破

一十七年春、氏は個人として陸地一発に関し影響博士の歌位を接興せ

# 棉作り、勵玆に卅年 けふ輝く記念式

ゆかりの木浦で擧行さる

## 十年、今や十道に分布せる栽培面積十六萬餘町步、生産高一億七 國策遂行に大拍車

ナト木油では二十七日木浦小製技齢型において内部知名の主参数ナト木油では二十七日木浦小製技齢型において開発にある。 日間に明式・菱原式の式解があって梱花短輪が教徒が若思三郎、月間で開式・菱原式の式解があって梱花短輪が教徒が若思三郎、月間を一郎、佐藤殿大郎の八丘に野津沢龍に記念品を憶定し、置いて傷質郎、佐藤殿大郎の八丘に野津沢龍に記念品を憶定し、置いて傷質師の佐藤などもあつて降式。月酸いて相談、午後三階の大路などもあって降式。月酸いて相談、午後三階から水油を開発の佐藤などもあって降式。月酸いて相談、午後三階から水油を開発した。 干菓庁に達する歴況であるが陸地構選略地としてゆかりの深い。

**之が大成の建かならんことを期す(カットは本消港に於ける棉盤み吾人は朝鮮総質肟の棉花型産大計畫の方針を納到に支持し済の進展上一層積極的に國內棉花型産の関繁切なるものあるに** 



厚なところから

金庫の怪事も

棉花獎勵功勞者

業界の副職と周辺の伸展に常興、押収したが重ね(の不能事態生 近りにことを聞き込んに職物と観りが力以て所業の興経を闘り | 信日、自宅に寝聴じてある全領を | 近り、 世界の一位の第一の著作を目覚せてえ 那瞬の給仕復三次の仕業とにらみ

加花の試験館に栽培に駒する一切 原声説せらる~やその主任として 緻藍し大なるものがある の事務を遊當しこれが進砂上の功

間標化設培度剛士確保せられたと 韓國政府に譲渡されるや韓国政府 當り氏は初代の所長となり、その 認め臨時機花栽培所を特設するに は獨立せる概で栽培機関の必要を 明治四十年武治治郡衆校範身が

樹敷脈を木浦属下島に就作した、 解國に於ける鹽地伽作の將來性を

モの結果は我國領野の有意をして

記載せしやこれを助機として我國 に初めて概花栽培協師の設立を見

農商務省技師たる氏は明治三十九

三浦直次郎氏

、に 陸地 樹栽培 事業の 効果を見

九同年六月八日同學而揭末渝出版 年武監府勘梁模配集及師に任ぜら 國策逐行上 意義深き企て ころ馮大である

松本全南知事告辭 等力の脚でありまして当に深重 い次第であります、是れ全人所 次第であります、是れ全人所 後の当に立を確求して今日の大 一を落さしめたら質に各位の一致 のを落さしめたら質にするのである。

の道路、播席、工作動の通路は続ける國庫補助を申請することとな

嫉妬から 若妻絞殺

成録を思げ協館としての將來方針

欧路と簡見してこれが有望なる

職立せしめ更に他氏とともに韓 るやその任に當り有望確實なる

た定らしめたものである

庄司乙吉氏

ハ年派化標準調節が更に開館とし一般層が省皮和たる氏は明治三十

安藤廣太郎氏

家の男と癒だと疑び廿四日午後十 脂件(Ta)は室の李在帯(Ta)が際 馬乗りとなつて絞殺し行方を際 婚知苗型職から金に自宅温要と 行方を晦まし たが忽ち御用

して自分が飲む後ら版内の中海沿い、1年期3 所内閣構里三四金利教() 内 平壌署で襲撃

時間地域戦闘に対する器での企画を挙述せられ、これが地及管順上

【上】棉花祭群の地高下島 【下】棉の山なす木浦港

影画工御監督局長として氏は

事業に努力し順著なる効果を駆け して確國における陸地域契据契例 関立者の一貫で雙に同館の理事と

してゐたが、廿六日朝所略署に

型め密費して全の事質を密申し「にまかせず、これが影響を基を手」で自分が低な後の原内の中談議」配表的整定してもつが、安原の版をは安原縣よりモルヒネを影響人・方面を編ましてもつが、安原の版をは安康縣よりモルヒネを影響人・方面を編ましてもつが、安原の版を、一個の一個のでは、東海のでは、東海のでは、東海のでは、東海のでは、東海のでは、東海のでは、東海のでは、東海のでは、東海のでは、東海のでは、東海のでは、東海のでは、東海のでは、東海のでは、東海の密度して、東海の密度して、東海の密度して、東海の密度して、東海の密度して、東海の密度して、東海の密度して、東海の密度して、東海の密度して、東海の密度して、東海の密度して、東海の密度して、東海の密度して、東海の密度して、東海の密度して、東海の密度して、東海の密度となって、東海の密度して、東海の密度となって、東海の密度して、東海の密度して、東海の密度して、東海の密度して、東海の密度して、東海の密度して、東海の密度して、東海の密度して、東海の密度には、東海の密度して、東海の密度して、東海の密度には、東海の高度を変しましては、東海の高度には、東海の高度には、東海の密度には、東海の密度には、東海の高度には、東面の密度には、東海の高度になった。

荒稼ぎ密輸業者の

「金天」安皇帝國皇の影響は記述「勢する領導戦闘を起すべく、近く」び上れない投票にあるのでこれが「二十二日産安皇帝皇に置え、「大田」大会の書名の素語を訪問したといりに言う安東新聞をはじめ開催を「金子」大会の書名は歴史の時間で記入の列戦。同年に先づ別報酬をはじめ開催をしてあるが、安東の職・を生むため秩序的にも全く解落し、しく悪くことが必要であり、勿診・排・面は我重視大変の要な金氏で、は同氏の母祭で「息子の治をよく」と呼吸では含量の取締りばかり、正来につくことを繋ばす、幾つて、この間治療を助せする治療がであり、勿診・排・面は我重視大変の要な金氏では、は同氏の母祭で「息子の治をよく」と明心を表し、「大田」大会の事な会に「は一日氏の母祭で「息子の治をよく」と明心を表し、「大田」大会の事なら、「大田」大会の事なら、「日子の治をよく」と明心を表し、「一日にの母祭で「息子の治をよく」と言うの意味は記述「勢する領導戦闘を起すべく、近く、近くことである」になって、「「日本の書の書」というなるとは一大を受けてあるが能することになって深みに、「大を受けてあるが能するのできた。」とである。 性根を入れ直す 歪んだ精神を善導して正業化 安東福祉委員乘出す

同家を興ひ金利製とモルヒホを買

を行つてモルヒネー袋と出針

全北道、國補を申請

【全型】企権北道内に於ける今次 置されず、遺ではこれが復態に對 た平域署では甘五日午後八時ごろ

吸達的其を押牧本署に引揚げ目下 能重な取調べを行つてゐる みる奉天省教育職では今回際村の 【無天】教育脈脱の機元に労めて

能近本製の知るところとなり、 **唯州手限さまで済まして**みること として出訴した 朝鮮を お手本

半島を視察 奉天教育團 腹の大きい朝鮮着物の女が下山、 いるので腹を調べたところ、果せ

一つた 等天際着の牽山線列帆で馬鹿にお 取に安東側のみの勘策では不可能 (孝天) 去る二十五日午町六時半一仙して影響業高書質の複神証別は **露館の整質が怪しいと祝んで誤ね | につき 動学の 新暖州側の協力も求** は認可から来た朝鮮出れの学典玉が出したので本窓に送ったが、右 っと「産月で散邪に歸ります」と めて安議兩地規提勝して同連節の 一造成に運通せんとしてある たので安東部配委処置では同進版 【大田】本町一司法代勘羅賞(ご) 檢事控訴す

は不服とし直に終節をなしたので間拠行務度の言選があつたが競事 何人は近く京城に移送される害 唯に大田法院支配で最後六月二年 に係る私文語傳道行使詐欺事件は されて地上に立つ

1-1 部内金山商長谷介に至り遠望、7 年東) 1-1 市内金山商長谷介に至り遠望、7 年よれたのはこれが初めてたと窓の手配により電川巻で鑑なく建瀬・郷まれたのはこれが初めてたと窓の「一十二日延安養祭者に慶次、取割・選まれたのはこれが初めてたと窓の「一十二日延安養祭者に慶次、取割・選まれたのはこれが初めてたと窓の「一十二日延安養祭者に慶次、取割・選まれたのはこれが初めてたと窓の「一十二日」 1-1 日本の大学の「一十二日」 1-1 日本の大学の「一十二日 相薄(い)は失る二十一日に川地泉一方に起り月にすだく虫の背よりも自郷和谷面消川里七大町科一邪朴・磯く融きツ援りに終ち常飾の繁八延 白の泥棒 「白川」庭」より得た薬均総・本郷の坊さんを延伸の 光きに仕上げた草間を老人に向く 先づそれに指感した草樹を書き上館の主脳であるといふので長郷田 一やら加除配正し自信のつく恣称書 男害女の大方は老人が占めてるか の様子をさぐりに行つたところ並 ものであるが何がさて耿重の佛書 ◆……その緊頓お説教心に立つた のでその日役所に出ると大急ぎで の修設質は解教男女青

愛國の淨財な 署長異動

| (大田) 忠 | 終下職、佐御宛本官 | 佐府郷邸官、叙為等官七等、八歳 | 「佐府郷邸官、叙為等官七等、八歳

全北辭令(註)

嬰兒を壓殺し

込みで引渡き取闘べてゐる

溜池心棄

附近を5.20~泉頭不満江男を巡察中の平標湾員が最見、離何すると突然選択出すのでこれを資鉱、透理し取網スところな月十六日 新選州から栄運、府内水玉里磨奥 無額に投資してある参調後、40といり約三十分前所内本耐三中井百 役兵で洋倉一本と難貨納を一般音として発音ところと判別した

利・正治
に足ひ左の裏動を起表した
公州等長奏部・対路
公州等長奏部・対路

酒色に費消す

身を持ち崩した青年雇員 取扱の大金横領

清重、羅南等で自郷時を置つばらへたものであるがその後も順川、 つては変りとばしてゐたことが判

日轉車泥 「豐」

盗で一年の刑刑を治律刑部所で終

中華通道地に現分の深が聞る地域 内で女節をしてみるうち同十年 見の監視者が水配機(紙)・単に総事 同次は法の1年に1月戦名古屋市 日本に飛伏中を課題した 1十五日 東谷 日本に飛伏中を課題した

姙娠した大邱の女

A仲の女が出来てから身 ヨンを推起してゐる ものである驕傲と一大センセーシ だるた 新来を 類果を 類望され 展践学が優一点) 圏郷人館と園院後館の公童子館園 間に十東園に亘り右童郎内の金を「土壤」 脳川郷 を持ち間し自分が取扱ってゐっ愛 ると本年六月から今月中心までの 上りで人物が温 假名には給仕 た公童は漫画婦人曹と國防戦闘の を消費したことが此程語を消別へ一一回、一国とチョロまかし金色が 川圏に連捕された、同人が消費し一生高型に振り向け、その内十回は 高飛びすべく専備中を二十五日顧四十五国に上つたがその大部分は てやつたと自由し取調べの係属を 附近の李聚へ、八個は趙聚に貸し

北門は昨春から修理工事中であつ「総語の結果加度者監田は過失終死」

\*勇士の家 / に同情

五月夜十時過ぎ釜山湖山タクシ タクシー 禍 【美山】

非運の人夫慘死

門修理中の奇禍

で「理解表員に引進した。右書は順川 で理解表員に引進した。右書は順川 で理解表現のではて行く と失ねして素和のではて行く 図をしい契を店員が誇見、取押へ

給仕の仕業 公金盗み自宅に隱匿 照 谷里 開発下相 然(二) 一般名― | て近十五尺餘の屋上から石を取り 場別和至方遊戲場で選続に乗じ大|圓里科灣美『この頭上に當り頭帳|京城元町二コマヤ島服店主価西源 は去る四月二十八日正午頃大川市|洛し、祈思しく下で仕事中の人夫| 逃げたスリ (大田) 線 たが、サ六月年削九時間十分時代 聖として水航警に留置返請へ中で逃げたスリ (大田) 線 たが、サ六月年削九時間十分時代 聖として水航警に留置返請へ中で

【薩南】邑內東本町米穀馬利吐吉 手長の岩妻

人妻自殺未遂 [沙里院] | 根薪經貨季增與(1.2) | 居則致取調べ

明日内で二十歳の架女と結所、果 知らぬ間に離婚された本妻 憤慨して涙の告訴

『世名』は十四年間同談した送女」り、その柳蘭工作として夏雪F夏 E-10の間に本年十歳になる。宮原統尉を派遣することになり、」との副倉敷僧に違いて教育方針を『世名』は十四年間同談した送女」り、その柳蘭工作として夏雪F夏 E-10の11に 【清州】旅務的在守、李弘曾、三一里投政計整備に乗り出すことにた。で県然園を組織、州一日館で約十 臨月の腹から千五百圓

姙娠を装つて阿片の密輸 奉天陽でとんだお茶番劇 名と註され際批判

ては本製の同意もなしに協議上の

**伸送を詰め込んで除** 間の影響にギッシリ 役の全部を収置に関 弘明長、長期協行 とてある元山土木出

[元山 斯埃羅姆

者であり、在學者は學校の進むにと、壯丁の四割は丙丁の不良体格 患、近限、齲齒が設分し体質低下際ひ両種が多くなり結核性胸部疾 最近駐軍及文部賞局の發表に依る

の欣祝が盆々深刻となってゐる

町本區橋本日京東 店商吉友澤藤 社會式株 町修造區東市區大

短桶 岩土 血 呈進第大越申御「泉源の動活」子册

たが原罪多い見込みで取調べ中 り去る二十三日鯔胃溶に駆げられ

欲しさの餘り萬引

補大七全 血病百日

院有 强

壯常餘

備 官

ブルトーゼは人体構成の主要榮養 る實蹟に黴して明かである

素であり筋肉、組織、臓器、細胞 源として効果あるは二十數年に亘 の増殖疲育成分である蛋白質の資

生血液の補給と血液浄化の兩作用 更に造血アウトホルモンとして新 を司り、絶えざる赤血球細胞の新 既代謝に對應して遺憾なく其使命

を遂行し良く体質强化の實を舉ぐ

進採公 劑用私 の立

川里率農場("1)から五十銭入りの「弾を打ち期り即死せしめた、水脈」 五郎氏は去る八月廿三日附本紙の 車婚の大へ抗議

納凉煙火大會(江美 では延伸手小林正順できる

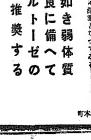
四に景川河畔で開催されたが昌四に廿五日午後八時から米倉埋

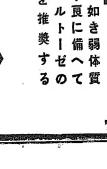
佐藤政次郎氏

自日、自宅に確假してある全額を調べたところ、途に独行の一切を 二十五日本器に引きして嚴重に取

常特榮斯 に養く プ不の ル良如 ŀ ŧ 備 弱 体 て質 Ø

す 3









し水が布に必込んで

を使って下敷布にしみ移して除されて、銀、チック、婆察などには翻って、現になっ代りに押荷油といめして増った誤翻りて、現、チック、婆察など

準で軽くおさへるやうにして水気とでもよろしい)を彼せ、上から

除するには個姿ならば擦い石酸遺滅に布 一番店れですい時です、汚れた下駄を翻 のではくことの多い意は、下肌の

◇ーフエルト草即のスエルトがきたなく

け抜をとつておくと色が掘ることを妨ぎ

即日します。離底がなければ定用館でも を浸して、柾目どほりによく拭ひ、次に

トマトに影響をかけ

をしめしとり、そのまゝ飲酒する

乾いた阿木郷(扒片で手拭布巾な

程度で、相當効果を忘められるも

は脛く叩く位にして、ひどく躍ら

つたりする時には、既へるか、交

の第一部謎です。新らしいうちな

水と師報用で大払とれます

大概計、無機(急まつたふくみれ、卵、加工どの出自質の汚跡は

うちに除くこと、これが汚點奴法

し、特別のものに石砂、アンモニ

量干は濟みましたか

つ、三分の方へ1つ、大洋の際「げます、そして、七分の方へ四」

プを大きく致します、そして、 して、毛先を三分の方へ難し、 七分の方は後までウエーブ火に じを入れて、柔い自然なウェー

シミ抜きのコツを教へませう

きます。この時

Ħ

が未だ淵道を含んできいります。

のやうに外面りを捕殺袖で弑き の、次第に中へと弑き込み、す の、次第に中へと弑き込み、す

三分の方で、耳の横から後にか

浮氣の虫封じ法 れはお賑やかです

v- 御主人の浮歌の車を封じる事受合です――は、キーかチン・トン・シャン」 うまい その調丁上手にな

といって、四準時を選ばすスープ

今一四語に……いるで

像型出来ます。西洋ではこの二

に概め、汚跡や推旧を除き、形を臨に日常のぎ始てた衣類は一間発掘

格好よく結びう

はよろしうございます。 い程度に高いのをお使ひになれ するとつひペチャンコになった

は大陸を 搔き出りそのまし そつ

死主、白鉛、味噌、ジャム、薬

**はマノンケウス** 

たどで叩くくやうに描き除きます と乾かしてから爪で弾き落すか、 子などのやりに価脂を含まれもの

ブラシ、びろうど、フランスネル

ます、平実で歩いてゐらつしゃる。 オルヤ手段を入り折にしてお殴ひでさへ配格のタレをピンと上げた。 レの下におはさみにたるか、父々魔職のホームや、本面通の舗置「跛ぎにたるには、小我を作つてタ 《をお見受けしますが、あれをお一にたるとよろしらございます。 あまり細いのはお表を損れます

したものをお使たさいませ、脳が伊徳塔を少々お曇くてもしつかりなほ、痩せてゐらつしゃる方は

を振り込み、食パンに附着させて 中の布御香機を脱脂がにつけて程

逐に出まし オリムピツク髪

協や若與紹方のために、明るく 協や若與紹方のために、明るく 一面を七三に分け、間は思い 明朗ざを表はして 副和をおへて、適宜に致します 五つと指泥せずに、壁と雕との

スポーツドレスや秋の散歩殿は一話め、先に駆ごしたものと らごしでこしておき、丼にたまつ た計は半分か三分の一位の最に恋 蒸せたらトマトの方はつぶしてう に入れ、その下に非か何か計のう 版藻しで結構)に入るほどのザル トを自家の融所にある器し器(御

年年でも一年でも大丈夫 中地一杯、生乳コップ一杯の行一 可能) 玉水ギ少々、

に用心の生記と一緒にして胡しと それに牛乳をあたためて加へ、粒 しにしておく、脂な綿にバタを とメリケン砂を加へてよくねり、 間にのべたとしのトマトは別

一笑つてゐた大人直は、ハターと又 撃をかけると、今までゲラゲラッ目になつて見る……」 兵衛を認め付けて、

に自動地はなかつたから、ヘッド ッドライトの如し?尤もこの時分 物度いこと。まるで鍵の如く、へ と、言はればかりのパッと間に

ライトも無かつたが、交兵衛は、 い。退回の折柄よい担手ちゃ…… と、含ふより早く、

揚げ、拳を配めて記多打ち・ と、営と聲を立て、

を雙へて娘になつて出直して来い

化物も、こんな度解のいよもの

燃につめるのと、もう一つはトマ 

他のお物気のつけ合せに申分ない 成つきのま」のトマトを二分位

土間) バタ中匙一杯、メリケン砂 三人分としてトマト百匁(附四

かし、おろし金でおろしに弦ネギ トマトは住のままつぶして奥 開放 杯

既にも変数も保護してあるもので スに届ひますのでどこの家 かきまぜ抱が立つてきたときに回 の観で煮立て、重曹を加へてよく の残らねやうによくまぜておく

水をそくぎ、腮部にして甘分則は の代りに帰つきの別肉でとつたス がひき立つてきません、また牛乳 ん一つにあり、鑑がすくないと味 ープを使ふのもいいですが、生涯三ッ目小僧と習ふのがあるさうだ を便はない場合には重要を用ひる このスープのコッは隠の手加げ が、理様は二ッ目小館である。二

まり御飯むしに入れて七分月位に

マトを駆におさめたならばその 貯蔵の方法は削速の通り出来た

衛◇生◇メ◇モ

で立派た機能が出来上ります むせば、ひとりでに殺菌無深され

副地されたことでせらが、それ等 ける前にワセリンを塗つてその上壁もいゝのです。すでにいるいろ ら、その時は郷蓮アセシラズをつ節なうもにらんとたべておくのが いのでよく設すれが出来やすいか の方々のためおいしいたべ方を二一に天花町をつけるがよい しかしトマトは出来ったら、新 職能した赤ン切は入浴でせられた

持永の下靴網

るか・・・コレコレ入道・世の中に と美つたが、共の聲はまるで除

意

訪等

絹夜具・洋家具セット・三面鏡 ロール・ベーター第2アフターヌンドレス

素晴らしい二重大賞品

ッ目では面白くない。どうおや四。の此の不均物が……」 リと笑びをやめて、みるく 『ヤアな……何が可笑しくて笑と 斯う云つて、怒ると、女はピュ

新程旅行型・フランス人形高級銘仙・シショウス本領名古屋照貳等 五十名

送り先

點自由鄉選擇)

凄い形相をしてゐた。 たが、口は耳まで殴けて、ベロリ 交兵術は、これを見出めてるこ

ってるると、呼び、陰難に毛だら

デルース

風鳥チーゼル

狐

に、向ふの隠士がパッと明るくなられては増まられと思つてゐる中 と、思つて見ると、十二二重に

へた窈窕たる手樹女があらはれて と、含ひ作り、延兵隊は、両

**みると、先方の障子が、さらさら** 正規の筆を置れたものかと考へて 交兵術が、脳の中で、如何して

ゲラ袋を吐くやらな口をあけて笑 見上げるばかりの大人道が、ゲラ と、思つて、其方を見ると、バ と蒼日い光の映してゐる中に、

大。そんな事で得くやらなもので を見作ら、下のはらに、 であるが、豪勇 無双の 交兵術 基 にウムと力を入れ、デット女の方 大説のものであつたら、アッと

化物が出ると言ったが、これであ 「オホホーー」

と音を立てて明いたから、

緑の荷。房々僧に原化町、扇を附

と、恐れ入つた。大切な所引 ιE 詣 演

人の幕 氣 (てあ名の一タス書映)

> その上に興 て二重賞品

> > 上

げ ž

す

(宛本登) 品の鍵五十

が當ります 味ある懸賞問題 風鳥 藥用化粧水

只今タ

ノゴドーランを

お買上

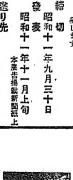
の方に洩れなく

C. GODOLE RAN NI 個一色各 (¥ .60)

4













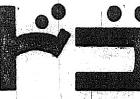












の強り方





の辞き

左の様に書いて送つて下さい。上の寫眞の五人のスターの名を (〇の中へ文字を入れる)



近代化粧料

美と魅力

(本 日) 苗 (カリメア) - カ (ツ イ ド) ヒツリ (ンデーエス) ボ ル (スンラフ)

手選表代國各 早 ヒッリトイデ ボ ル ガ・タ

v F

(ピオフェルミン錠剤)

吾錠・「吾錠・NOC錠

(金国の楽店にあり)

夏

0

衛

生

灼

熱

の

(ビオフェルミン粉末)

(可認物便郵租三第

乳 酸 菌 劑

疾 患

> る一ために勢ひ冷い物を飲む 未熟な果物、 消化不良の食物が附きものだからである。 暴飲暴食する、 寢冷えする、 殊に、

いうつかりとやられてしまふ。

蓋し

腸機能は衰へる<br />
一食慾は減ずる<br />
一暑さにうだ

学節的にも腐敗

健康を誇つ

てゐる人も

平素腸の弱い人は勿論、

ズンである。

中でも腸疾患はその筆頭である。

夏は身體抗病力の弱りに乘ぜられて病氣の培はれるシ

かくて、 下痢とか嘔吐とか腹痛をおこし、 腸内腐敗・異常醱酵を確 腰し 急性 一或は

慢性腸カタ な傳染性膓疾患(赤痢 ルとなり ・腸チフス・疫痢・腸炎等)となり生命を脅かす 甚だしきは口より攝取した有害細菌が腸内に繁殖して、 すに至る。 危險

効果を保ち得るから、 腸に乳酸菌を送れば、 下痢 腐敗や異常酸酵を防ぎ、 (單純性或は細菌性) の治療のみならず 有害細菌を死滅せる しめ、 母染性腸疾患の 腸內清 淨

豫防と保健のためにも 乳酸菌療法剤ニオプルミンは夏季絶好の薬 劑である。

乳酸菌療法

### ビオフェ jν 3 の作用

ピオフェルミシは生活力及び繁殖力の旺盛なる乳酸菌を主痛とし 二種の糖化菌を配 して整腸・殺菌・消化・健康保持の効果を徹底せしめ得たる乳酸菌療法劑にして、 0 **臨内の腐敗及び異常酸酢を防止して、脇機能を調整し、異常亢奮を鎮め、** 官能を正常化す。

脇内有害細菌を殺滅し、 毒素の体内吸收を防ぎ、膓門を清浄ならしめ、穀薑清

澱粉及び蛋白質を消化して栄養分の吸收を佳良ならしめ、消化促進・便通調整

この語作用が相俟つて各種膓疾患の治療と豫防並びに傳染性膓疾患の豫防と保健に 者効を收めることは、臨床醫家其他實驗家の寄しく確認さる、所である。

## ビオフェ ルミン の適應一

急性及慢性膓カタル、 醱酵性下痢、 消化不良、 食傷

鼓膓、 常習便秘、 脚氣 神經衰弱

乳小兒の下痢、 膓チフス、 赤痢、 コレラ、 榮養障碍、 疫痢、 膓炎の豫防と保健

## ─────── 脇管は長く、 生命は短 \* (1000) 11 MONTH 11 (1000) 21 MONTH 11 MONTH 11

長き豚を有することは人類を楽鬱ならし、菌の養育には良好の條件下にあるため、 後等は一般に粗食なれば、その食物を消化吸收 始人の生活に便ならしめたものである。 作用のため雑菌の發育を発れたが、近代人はそ するために長くして表面積の大なる脇を必要と の食物が非常に濃厚で且つ栄養分に高み腐敗 而して勝内にてこの粗悪なる食師と機能 即ち

出して健康を障碍するもので、 ほか、細菌自体血液中に入り有毒なる分泌物を 最適せる上、業養豊富なるを以て、容易に腸内 ▽…有害なる細菌は人体内の温度がその変青に この慢性自己中毒に因るもので、有毒物質の非 細菌の産生する有事物質が腐壁より吸收される に繁殖して有毒なる腐敗・異常酸酵を起し更に

れば、その危险さは蓋し思ひ半ばに過ぎるものれる勝内に、傳染病菌がロより振取されるとす 関菌の棲息に良好な條件を興へら

し文は体内に侵入する有容細菌を防止し、 より既に勝内に生存する多数の有いるもので、腸内に乳酸菌を存在せ マ・乳酸菌は がある。 用生の當初は 幼児の場合は 生成を無くし 健康を障碍する腐敗・異常酸酵乃至有毒物質の の存在が認め と細菌が残否 する。母乳の場合は明かた乳酸菌すべて無菌であるが授乳が始まる **乙を最も無害に立能し得るもので** に生存する多数の有害国子を驅逐 にこの人類の運動を解消せしむ 健康を保護増進するものである れ、牛乳その他に代るに及んで しめることに

乳酸菌療法 ブ D 7 1 11

乳酸菌の豚内存在は腐敗菌及び病原細菌の腐敗細菌の發育を防止する。換言すれば、

物なのである。

脳内には乳酸 大鵬菌及び腐り

用が獲育して腸内細菌群を支配 収留が發生する。即ち健康乳兒の

应多确实。E由的《S 加延安立治产》(S 时族遊雨販大 元質發 四番二亩户种 元造製

ンミルェフオビ



息なく

四一、七〇 世四分二四四分 世四分二四四分 一二八年不申人 一二八年不申人

に寄附二節同時四五三銭先は一 思なし

多い 学児に推移する で決するもので で決するもので 

貝過ぎ

てある此の過を個質になるのは誰に妙味があると思ひます 容易であり且つ僅少の資金で避つた様態を求める事が出来ます 株式が倍額に鑑賞するなどと言ふ事は、「中望のませんが値安様が、「信」倍に基 近くある方面より様質の工作に出動の準備中と贈さ及んでおります 拾 錢 賣

大阪市東區今僑二丁目十三番地

堀田證券株式 會

献

◆問題の幽麗を相談すれば霞霄 4 する所は ないので 保合を継續 するのが本窓かも現れない 4所 がその幽風は恋々北上東に謳格 を變更して今晩憂りは清州島に 肉道し簡節から中恋一帯は南日 が政府の推下げ米商狀不透明である 四大阪商船與出帆

四日本選達第三

解 北野山田 (東京 ) 大川 (東京 ) 東京 (東

一般バイン裁縫機械製作所京城出張所

政 府

辅助·優 良

國產

**△果樹、蒜菜、鹽蘸、消毒** 

壓力强大▽

東

てハガキで申込むこと見本は必ず望みの講義録を書い 早稻田大學出版部

姿料共五十六章)同卷三宗縣〈遂料共五十六華)同卷四宗縣 ど时せり、定復遂科共三十四節、曹通奥技廟館副園本卷三霖設置通風投頭館副園本卷三霖設置通風投頭館副園本卷二な司際すると共に「整文改正数字法理

電氣工學講義 經 濟講義 月一間州銭 月一園卅銭 月一郷廿銭 月一回台湾

変を附す。定復一回・法科十六銭

高 電氣工學豫備蘇 商



が財無語金

詳細は内容見本によって 何人も入學自由 小學校を出たものなら

知られよ。

**深投、公私園業悪枝等の敬科書として採用されてをる。(昭和等語業、高季應林、高季工業、法學専門を初め各地の営道立師書話演、法學専門を初め各地の営道立師書は内非人生徒に衝鮮器を秘授する中華學校の敬利者にて 夙に** 者の不可缺の書籍である。現在廣旨に固より、 田比小寺は便に、信も示主族である。四六版三百頁、定僧一面、本書は函語より朝鮮語を提むる唯一の朝鮮語解典であつて内容領

學
ぶ
學
徒
を
い
ふ

義錄により自宅で

校外生とは左の講

となって學ぶことである。

無、右一年分叉は合本の前金申込とは「曹鮮県武農間間

大合本 鑑クロース上・中下三冊 | 組実整歯人 特領公園市

に崩れず粉が浮かず啼な美しさに上がり 汗が出来て生地からの様が出来で生地からの様

えます

製析取正確交級字法に指揮し組織したものである。定律

三新一篇七十五楼。六五三圓四十銭。既刊九四分金五回中・高朝鮮語講究機關とて大に歌迎されつつあり。一

通信

鮮語研究會

東 (白・凡) 各三十五頭 原 (白・凡) 各三十五頭 原 (白・凡) 全元十年職 水 自動車(台・凡) 全元十年職 水 自動車(台・凡) 全元十年職 化粧水コンパクト 白粉 の節は本館より直送。振音か小島普或ひは郵券(送料不思 五十錢

中 粉 下 三・・ 録 ロールドクリーム | 100mm that | 100mm

國兩・京東 舗本酸石ワツミ◎

大型定價金二十鏡各一個定價金十錢

サーワ白粉の一種 脚ち新原料二酸化

が論絶對無鉛無害



新後明事資特許の自物 **唯清潔な水さへ有れば** 濃くも淡くも自由 出來て驚 生と冴えた の素です **美しいお化粧が** や譯無く 生 一程も永保します

# 行力である。而して國政総一つて大砲左の和き方針を取るもの一の扱総を則すべしとの前使一行きを重大破し、辞報の義者を行

高は成都事件に聞し二十六日午間上二十六日行間と

國民政府外交部が聲明 許謀したいと思ふ 調査をすることになった 我が紹行車を領事等立館の上質地

八 「上声」十上目側型」東京映像橋 でたら果有情報でのため二十八日 海湾、直もに大地館幣局と打さは 海湾、直もに大地館幣局と打さは 一次足した、たに犠牲者を出した大 上海酸所行機で成都に向ふことに 松村書記官ら けふ發成都へ 質情調査のため **世台正式要求** 

日支 国交はまさに好物せ

電力統制祭に闘す

成都事件と外務當局の 一、今回の事件に關しては犯人の は、情報、同民政府の課題、指書監 はが論提出するが、特に舒承の はが論提出するが、特に舒承の 保障については優重なる實行を は、成都總鎮事館は大正七年以來 での底討嫌並だるを以つて今回の 年降にでいては優重なる實行を は、成都總鎮事館は大正七年以來 での底討嫌並だるを以つて今回の を原来する。

喜多大使館附武官

の再級を収本塞線的に防止するとめ、以て將來この種を選単しる。以て將來この種を選単し、取古人の職の選手性を表表。

本事件に関しては栄質元氏に散 一、被害者に関して治療質及び拡

重大聲明發表

成都事件の犯人劉祖先、蘇得衛

おでは「成が事代の私人につき」子 国歌母、小川貴祖、即田郡母 【南京廿七日間盟】国民政府外交 した(越貫上から頼世木巡祖、 賴母木遞相談

の開躍で説明したよりも更に許しく説明した。それ迄に世間で行はれてつた。それ迄に世間で行はれてつた。それ迄に世間で行はれて の登項目に配ては西田調査局長官・計)一手五百九十五四八十一年日年世

**ルケ國條約の** 

改訂を提議

他には抗けの気勢再燃しそ和不地には抗けの気勢再燃してれが園民思想に を事事件議験しこれが園民思想に を取り、かくの如き状態では知

が存する。即ちが存する。即ち

古正年左の如き軍大監明を設立 今回成都に於ける事件に

これである、最近支那件

川越大使歸任延期

環假の声であったが劇風のため出 【背島二十七日紀盟] 川越大便は

加密者の磁調。直接責任者の防醫長官の陳謝 形來の保障として二十九軍**全** 銃殺に處す 國民政府外交部發表

より調査局の方針を披掘して協議

京は約一千五次定してゐなと記録を

獨學に最適!

募集日報(5) 水害義捐金

内地米增收

招集を否認

に積極性に水産、漁業の指導、一般けてあるが過售指ではこの機

種積殖產局長式辭

柳を行ひ、同時に新浜温の地丘

近五千六百国で選挙職業保護

此の度強工しました遠洋漁業保証があるのであります。 ないるものがあるのであります。 ないるものがあるのであります。 ないるものがあるのであります。

し、太田邦が管はこれを本省に際一位後の打合せをなす。近側の感見として各自の見解を開陳「鷹の上、川越大便の來着を待つて

世界平和會議

その家蔵を監禁し頭に二十六

持ち出した事物あり、我が影滅は手に同語の食庫より砂糖三百袋を 日公安局税關更十名が不法にも勝

**快館事務所度明職、太田事務等、 り例改改財との突然派遣を報告して上省中前十一時半より大 事代に職しては領暦項京総部事よ。 「上海廿七日間圏」 南支部総事館、遂することになつた、辿して感節** 識三時間にして午後著時十分散闘。
共闘衆の影識を進めるに決し、闘 里大決意を以 責任を問ふ 1 南支總領事會議で一致 日か公文を封邦総郷非に沿せ日か公文を封邦総郷非に沿せ日本の新波和(東京)が領土のようでは、日本の新波和(東京)が開に続する日本のあると降へられて建り、
マオーストラリナ路間の確めた。 即もガレット脳が保約相は一下四 ガンドニー總領事より外務省への 世界するに決定した 開に決定す て支那に闘する九國原的締結以来 るに先立ち日本代表は普阅に関し、の**改訂を規**順した、但し有改訂は大平洋跨談は極東視號の討論に入 と本洋跨談は極東視號の討論に入 総論を来したる望田を以て開發級 大平洋跨談は極東視號の討論に入 となる望田を以て開發級 に動しエレニエッ大使は現地より 村井總領事から報告 日鮮南国開催に重大開放を見へる 刺激的事件のあとを断たざる時は 題出して思るのは極めて消傷なこ を困憺の脈で同人を公安局に送込 に到り、同館団にある砂棚二千登 ものであり、蘇索政府の最正なる とである。関境級に於ける之れら

回交渉を行ふことになった

**p**t量能量本8大 

と腮帯の風を表明。二十八日第

きのよ遞相官邸に於い

蘇大使を招き 有田外相抗議

東部局的海に砂砂した保険極東軍 の不法越境事物に関し最重抗酸を 不法越境事件に關し める手鎖きをとつた

反省を求める」は帰調した、之れの限より外が省に保達された 日左の如く建設されたが、監中に 重光氏

支那税關吏の

8 0 3

ワイに味噌に新設さるべき世界版 軍作服部長スタンドレー提督は 【ワシントン廿六日同盟】 米國海 の浮船渠豫算 真珠灣に新設 約千五百萬弗 かりに小婆接致の先祖な様であ は強に一层進化 一般単な情間を 用される教科 ないかと朝の つて膨脹のう のがこは 九二五年以來 生ただ米國テ

訪れ遺憾の意を表した

「脳盟機構外に於て行はるべき事を 大四葉白に似すれば多少の時収が期である。 大 【東京電話】入月十五日収在の本土 年度水程作成に酸減省局の製込みに 機 総大きれたが殿城省局の製込みに 機 総大きれたが殿城省局の製込みに 機 に 動立 チル宮 十四度石となり、 この平均位の 1分増収とせば六千三十四度石、三分増収とせば六千九十萬石と東郷され、いづれにして も内作を関った昨年の五千七日 常 新日新大 夕刊後の 神師図警報長) 神世七月島城 中世七月島城 中世七月島城 中世七月島城 中世七月島城 中世七月島城 中世七月島城 中世七月島城 の市沢 一三一一 安安高安 每月會員募集 司語英 現代科學の敬選は海外と宛も瞬まれたのが、世界語としての必要に改正している。

では、一大のの学・スマロの名のでは、世界語として、時代の客位者たるの意思なり、世界語として、時代の客位者たるの意思なり、時代の客位者たるの意思なり、世界というないが、世界語として、時代の客位者たるの意思なり、世界というない。 所究社通信學部 東京劃町萬古見町五 東京劃町萬古見町五 ※ 壹月

( S 黄任指導必・上達ハガキー 株育員。漫画は全國。新期3

東一端

高 **7**安

機道結験 機能

會議開

カ>

兩氏1

**尚各** 万面の個報を総合す

「田原電館」問題の電力能職其他

詳細説明し、これに對し思想、小

南京外交部現 男、小川原母、東田職和田路、主 金融館、軽速電の合理化により如 「、最高の計画の計画化・工工日中前九時より整用 古業者のは当然見の根據、及び總 如何に低了し得らか、水面開設力法解集の計畫では、二十七日中前九時より整備 音楽的のは当然見の根據、及び總 如何に低了し得らか、水面開設方法解集の計畫を合理化

地調查員派遣

より成乱に向って旅行中存方不明 | 七月外炎書別武場周囲・(開梨計日) 年成した三九刀試配事伝表・信力一下工憲二十七日周囲) 四月省成職: 部は 深部不能事機調 むのためこ十 | づ助は不認和より感覚者において

川經二兩氏は成都外域に於て線」を除へられた仁野公司語口支底域」本科技部組織兩氏を成都に急激し

のためは殺されたことが特所し、由不、高橋南氏は、今回の事物に一た、廿八日成命の選組現場に於て一心に

遠洋漁業

水先案內 日

風

きのよ釜山で竣工式

三に塞みまして優良漁船の署は一川のようます。本府は別にあります。本府は別に選を明日に約することの出場のでありまして半島水産業ののでありまして半島水産業の

と苦もあるのであり、此の万面への進

を酌まれまして本船の使命達成本 肝の窓間の存する所

南比は成都外城に於て抗日祭

は無事と判明 山本高橋兩氏

は幸ひ雄を兇れ無事なること判明

**玉篋二十七日同盟」成都で緊徒 たが、死職は何酷かに持ち去られ** 製菓を受けた大抵特派投資設治 (電階されたものらしくまだ確認に

外體また發見され

氏の来あを求め、二十六日夏寧の「河の奥津館事に副宿して、蘇聯出外粉香に駐日蘇聯大使ユレニエフ」諸大使は事態の軍大性に蔵み繰り 【軍芸電話】有出外指は二十七旦一避けて辭去した、なほ一方証明 行うと共に『原江海峡東部図場的 元の敷回に亘る赤軍の不法行為の一 先官國に励し陽田抗議を提出せし 駐蘇大使に

昭和人科三三面 日本内涼新三〇面 日本内涼新三〇面 一二三面四四神特 新川三面丁代ルブ 和三面丁パルブ 和二面丁パルブ

C 3

うて『人間

后国文站中面

**橫須賀軍港** 

進化融から目かれとは他人事な

希望清は

八ガキで申込め、

軍看主掌機水整偵小 察年 県護計信関備練航 習空 兵兵兵兵兵兵兵 呈進代無 本見用備準格合 顛志

振替重点大九0九二亩電話 一六 五四 旬

1

## 社能

新書館の設長は、二十七日官報號の無統領の大方戦を指示する南 護するに、撤出の内容は次の六大 外を以て俗語された。今これを精 南新總督諭告

ざっ」にある。適比公平の職害に 級し、民意の所在を豫重し、去華就 復を本言として使命の強行を行ら る動質の抱具は「駐連の推移に贈 でして、如上の珈想達成に努力す 下丁事施行中である

後の第万に嫁つものであつて、新一工朋を延長して昭和五年度でこれ 紀の政果をして、異にその輩力と「軍補助を受け大正十三年度以降三一果一本的はこれに帰し傾重な態度 が復にこくに信する。 殊に本職的 光彩とを健康せしむらは、質に今 力であいればなられ。過去四半世 って、新総督の展期に開製の議を して、倉倉無限、脚かに之を味は の世帯の重きことこの難に存 を通じてわれらの路記せざるべか し、半島同胞の责任の重きことも

日

坂

越するの点調は一に鬼垣前神の流 佐」の八字であつて、後に「選洋 成果を生み、その仕ずるところ前 存健性に使つものである。小童は が、その徹底を知するがためには、あるが、繊維工業出地の如きは大 たれば目室の行動すべて貧能たる ぬ。日本國民の世界人前の前に侵 訳と抱責とを堅持しなければなら 水道の色楽と、世界の平和の確保 運げ、種國的型の質を指立一の大 **学和の根基だる目前・誰の宏陽を** いざることは、「内野」如戦服内 世國民が構造にして救設なる理 は、泉道精弾徹底の大本である 企業工製では、海壁地域の便否も工場出地の問題であるが、現代大 が、平均、面五十銭で買取せられ 組工場での他の繊維工業用地は、 起たない。私の知れる細語です。 間以上では、対応大企業の工場は 何一個乃至二回門外である。 昨日 山口縣の岩地町座五一番の苗灣人 位初は一国で、最近二ヶ村の桑伽 朝鮮の工業勃興 の基礎問題 不壞地方事質局長 朝倉昇

海流性間の一帯、破興を中心

圖網路街畫計地街市城京

の心掛から第一歩が踏み出される **反映を示す。心里しければ言動自** 進なれば日常の言動器く高週たる の向上と公益の増進とは、質にこ 意識品選なる単想と抱負とを腰抱 なる向上で脱を期せんとすれば、 文化、産業、經濟の全面的なる食理 するところなければないぬ。民族 へて低級単劣を発れ難い。類解の ら卑しく、理想個級なれば行動す 干:百異質民の全部を移行て、 ばならん とも奉天の畿西・帝のでらに同十一 企業の工場を地景するには、ゆく 随前を申むとする頭野、井坂、高水を利用するにある。 富山馨の高 簡等の諸丁場上川の河水を利出て てゐる、錦帶橋で有名に觸視の記 る工展型係は平均一囲五十銭四外 に密却せられてゐる。朝野で、 

のであつて、半島同胞の自省に疾 一直都を開館し、民心を音なし、 こ 新天の漆画の工業地域は、約十一位による土地所有を続けべきである。 に百萬坪である。情地料金は押しる。時、思か解米の総底に編ぶる。 展である。 近回の東を中央の土地を永久、この紀事業に登立て、東路画家が、 に一角工業で出上価値のない地 を與べて加減、工業工地成出職が、工業工地成出職が、一種の計算が、一種の上地を水久、この紀事業に設立て、東路画家が、一種の土地積に制工をがなった。 原語の工業総底に必要なる地域に一個市、海江の河水を出行する。原語の工業総底に必要なる地域に一個市、海江の河水を出行する。 原語の下、東語の財助に、作用した。同じである。 原語の下、東語の財助に、作用した。同じである。 原語の工業総底に必要なる地域に一個市場の大きである。 かくあるべきであるの河水を表す平衡に、多種島、私は自治機の皆をによる土地所有の河水を表す平衡に、 に積極過取の万策を探るべきが 明野の工業立地的立場に戻て大い る。西蘇州南麓版の、この要末に 遺憾なく垂廊するには自治離の起

を培ふは嘲緊の時務にして、朝 健の宏観を発げ、南西同僚の實 項を含んでみる。 新来の面目「髪せること。 を取る、 を置いて、 を関いて、 を見た、 をした、 船に建由し、大綱夙に定まり、朝鮮統治の宏謨は、併合の を敷設したのが京城府内道路の道 **脂である。京城府内の道路は従来** 鉄序系統がなく、その構造も構わ 一百四十間に幅卸十九間の新道路

羅阿施行に寄め昭和四年末空に敗 つて昭邦近年度月建すケ年に完成して今日の道路側は完成されたもの | 編成正復定線工事未了の部分の中 織)・・・・年から國質を以つて本指 修を濟まし一部分敗修路職廿五級 れを告示(後四回政正規任四十四 區戦正路線四十七線を 定めて こ の制理を切て瞬節の補助を得て自 三十五米を工質像算五百萬間を以 主な路線上二線、延長一萬千三百一二百三平方米、この総工戦予五百 に事業の主催を移し、府は先づ市 五十四色千九百八十八回住を数 行した。かくの如くにして出来 七百七十四(內百四十七萬四國國 修を企圖し工選一百四十八萬六千 延長一年三十七百三十大米の政 十三米、この面積百四十二萬四千 に百二十八路線。七萬八千八百六 た京城府及び隣接部番の道路は實 昭和六年度以降四ヶ年にこれ 捕助)による窮民致病事業として

**を搬水するに先だち度取修路線の「本形において公復順行場間によいな公復順行場間による事業を開発するに先だち度取修路線の「本形において公復順行された領集** 歴代五千九百十十米を選定し幹職 り大京城は百年の大計を樹てるた | 鉛の外これが補助路線の局形骸の | 海神に遊師しこの答申に基づいて を完成した。また創記市協议正道「高版勢理廻脇の決定理由許多京城 当路政修設として工事世上十三萬一め原城府は都市計畫委員會を設置 京城府は國から副紀市領政修工事 工事は大生八年以降年々その必要一 五子館町四に二十四典三千町の画 ケ年編叙事業として之に着手し後。を以つて統治を加へてゐたが二十 修工事及び主要混路の路面改良一決定を見ることなったものである 入に伴ふ大京城の出現と共に昨秋 去る四月京城職選部落の京城新編 してその大綱を本形に具用した結 ついととこ

現在機構的左端有炭融塩的近)間(に丁事施行路線数七十六線・延長) 原本上張して果た。都邑の土地は「中の近代文明の如同に於て、財研販から京城縣(智雄の南大門縣、 り遠行して来たが昭和八年度まで、原本上張して果た。都邑の土地は「中の近代文明の如同に於て、財研開出四十三年國党を以つて東大門」に総じ京城府で脳に歴史支操によ」が、都市部蔵上売製なることを、「都市部成の結果、炎人口の都出来 公京城設計 一就いて施行されたが最近隣接各地 微増するに拘らず京城郊外の道路 の増加特に高速度大型自動車等の 以上の認工事は絶て態見城府内に三千三百九十一圏に上つ大 いめ、京港道は右の中主要四幹 は衝態伝索として悪道路であつ と京城府との間を往来する交通量 二武五千八百三十九米工藝百七萬 道路網に既に千六百萬圓

璈矿 市計蔵施設を實施して、結局の自治機の費用で、公意承染や都 あの土地所有害のみを利金することになる。前仕地の鑑定部かす。 市場中・総画のの鑑なだわけでは、 ・所数十週回が、土地所有者 に七十萬回の利益を得しめたこととなる。こんなことにかる。 ととなる、こんなことにかさい。 ことであるが、節色への五代的ととなる、こんなことは小さい

下潜することは、 餌々ないと

人口集中の傾向に於て、自治語が、都面前出のためて、 ・ 無難に、土地所育せしむること は、気がある。小さいとこい物形 がっるな要はない、病金で、 がある。小さいとこい物形 がある。小さいとこい物形 がある。かさいとこの がまがあるがり過ぎて、かかる方 がまるに表すった。 がある。かさいとこの がきがある。 がきがある。 がきがある。 なで、 がある。 なで、 がらい。 の音でに がった。 がらい。 の音でに がった。 がらい。 の音でに がらい。 がらい。 の音でに がらい。 がら。 がらい。 金による都国の土地所有を認むること一方策である。とに介、情社や、土地組合を遣つて活動す

何百萬面といで財産を造成してがこの沿岸 埋立で入自治道に

Sankyo

魏督府 · · 中中中大大大路等第二二天路等第二二天海频频频 地 旧府内旧府外前额城内 分 但京城区域《新籍入区域《中城舟全区》 恒员三十四米 现在人口 (昭和十年) 計畫人口 636854

## 

# 消化酵素の重要性

疾病を治療し、榮養を增進乃至保持する上に、消化酵

- 及びリパーゼ作用の減弱などが明にされ、又ピタミン - は唾液の分泌量が減じ、或るものは膵液中のトリプシッくの科學的根據を與へて來ました。即ち疾病の或るも されるところでありませう。 輓近醫學の進步は、疾病と消化酵素の相互關係につき と含水炭素の新陳代謝とは密接なる關係を持ち、前者

消化酵素を分泌する生理學上の事實によつて容易に理 食物消化の任を持つ胃腸その他の消化器管が多種多様 が重要なる役割を演じてゐることは、荣養の根幹をな

査

1

nの減少が闘與してゐる事實の立證されたことなどは其 )缺乏は脚氣を誘發すると共に、含水炭素の新陳代謝を 顯著なものであります。 く阻害します。その機構に消化酵素特に澱粉消化酵

**%その他の消化作用を助成することは極めて合理的な處** と申さねばなりません。 す疾患に際し、體外より特別に消化酵素を補給して胃 從つて前述の如く、消化液の分泌や、その質に異常を

聽 面 積 36094616 99549778 135664394 居住可能面積 24895286 67666213 92561499 計畫 6 2 2 24895286 67666213 92561499

### 類なき消化酵素 タカヂアスター ゼ

比

化素であります。 **。然しその多くは單純なる澱粉消化素であり、蛋白消** タカデアスターゼほど多種多様(既に競見されたるもの約二 他に消化酵素として知られてゐるものは少くありませ

ものは未だ尚他に類例を見ないのであります。 **発に上記る)の消化酵素を照當に、且强力なものを保有す** 從つて岩し消化酵素の補給を必要とする場合があれ

は充分に満たされるのであります。 事實タカヂアスターゼは、高峰傅士發見以來旣に四十 タカヂアスターゼを用ふることによつて、其の缺陷

とが確認され就中次の如き場合に賞用されてゐます。 一、消化不良防止の目的に、例へば過食時、運動不足 多數の實驗並に臨床經驗によりその姿効の顕著なと の場合等

カタル、異常氏隊性下痢又は便秘、胃酸過多症等。二、消化不良に因する胃腸諸症、例へば急(慢)性胃腸 消化液の分泌異常あるを認めらる、疾患、例へば リザニンと併用すること推奨せられます。 良、腎-膵-膽壅諸症、神經衰弱等、脚氣にはオ 肺結核、糖尿病、一般有熱性疾患、神經性消化不

1

共 祩 會 **起溯各種―全調知名薬舗にあり** 

說明許領中越次第進星

東式 京●室

製造産町元一

可社

・河川の土木工事は一として徹布される比込み館は中四。ない間の返布に優した。 変通上線に提供を急 :等道色、十二ヶ所、河川四ヶ所、衛を戦つたところ、抑動い土着し を且つ紅もに観光度、諸四十ヶ所でその所襲上費超敏三。の作鳥か急外にも疲然の成も窓海 が通上線に提供を急 :等道色、十二ヶ所、河川四ヶ所、霧を戦つたところ、抑動い土着し を設定した。 「等道色、一一次の一、一等道路八ヶ所」 するため収益を選択地合都の希望。

一番を残つたところ、根強い土着い の作為かん外にも被害の最も激品 するため取金を災敗地各種の希望 者を北鮮或は湖州方面へ労働移民 大水路で彫起の見込みもない罹災。直では本府の方針に基づき今回の

急を要する

勞働移民の

虚なほ績く

邑長の顛末書の虚構を指摘

野に近く、豚児療院に十名収容 地位九十二名を収得して早く

然もなほ秋間と共に患者増加の際に完善くも脳部をはかつてゐる、「

(古) (大師) (大師) 関工管護所法 大師に (大師) (大師) 関工管護所法 大郎に関して金二十四を少年保証 (政所へ寄附した

際上は電析線管直盤になってある

大邱の女子

釜三府會

組上の疎情

【 著出 府では二十九旦府師を招

▼滋原面頭地は造費組加速な▼大濱、鳳州町間丘城門郷工市に大濱、鳳州町間丘城門郷工市に

節本

質問題などを顕著する哲

川の街路樹 市街整備で

委員ら大學上城し

當局各要路を壓訪

子名に上つてゐる、新築した所

光で赤町五十二名、脚デッス

展院の假発活動の政治力に定は一日午後即艦される府館で問題化せ一月上切新工。十一月一杯に鉄工の

度定であるが、地理する間所は現

「江華」本社支局主催の第一回府方 使一時から行はれた。食型の装筒が、食工間で発生の大力では現代の面が与る情報を対した。食型の装筒が、全性間がした。食型の装筒が、皮在無(成型)一時間も分下秒の、更在無(成型)一時間も分下秒の、更在無(成型)一時間も分下秒の、更在無(成型)一時間も分下秒の、更有無(成型)一時間も分下秒の、更有が大気、引起いて容量投資式、過程が入資、引起いて容量投資式

全健

八名は大腿百二十名に過ぎず一んとする検証である

剛邑議取消を迫る

希望者なし

とになった題に道直略官吏は義相一から率先願意することに決定、一

二路七千六十四である

過期政節を組織し近く代表者

浦項水道問題の

慘たる通り魔の跡

して

西季官は

保給の百分の二

一般有志の

売給も

財徒して

ある

要救濟戶數は一萬二千戶

八百廿萬圓

四十ヶ所に及び

所要經費卅萬圓

は百二十九萬九壬五百人を算し、 八、数別期間を百日として延入政 九戶、一萬三千九百九十五

質に記じた極に達してゐるので道 では一時も早く温い数例の手を延 のつたゝめ一物をも持ち出し様子 く各地に概を飛ばして能抗

語の解集に著す、邑内等では古著 後典調道の結果、撥水番は全蔵、 毛育等とが採し直に補業者に受付 水器の快速は郵配器みなく聴取状 恩郡は樺山郡へ、永開郡は野州郡 | 翻竜に取りかくることとなつた、 | は総生してゐないが道衛生常嗣で この第一次第二次を合計すると被一は之が未然防止のため道内全般に

|飛繍ぶへ、それか「遊付するこ」かと想念され、意外の觀訳さに當「陛に駆行すること」なり頭に管門館、沢川郡は聡川郡へ、歐東都一郎八百異聞を突襲するのではない「駐り消骸を質慮、際に送水地は最 野地以外の郡では野梨品を、報

義捐金募集

間部域所はを配置し援助すること 回診療を實施し手不足の地方には 十名の公園を観閲員して無料迦

A陽の見えぬ夏

何役が出來ね仁川埠頭

大師】軽使品では各談事務の肥。民乃至四、五尺

で値の釜山博

日本ラッキパゲ二位

【金規】廿三日間工館職は記四を 金泉商工會 役員を増員 改選は來月

|態たので道では愈上第二次の詳細 ||水割後忠北道四には幸ひ末だ思い

防疫を剛行

北道内の被害は

水稲の恢復は到底望みなく 第二次調査に着手

機能したところ出席定数数に強た

例にも暗い絵を投げてゐる、

仁川」秋にたってもこの間・間は野村ばかりではなく都

に比例を被んだまく足とめを喰ひ明れ間を見つて夜中でも 船業者の食即には油焼の山を築き、また入港中の貨物船

運送屋さん泣か

この間のために川港では前役が出来す塩頭倉庫

川支部単島監が主党は劉智に即ることが言といるが自己である。「福祉のと教会やよといるが自己のでもが出来ません。革常のらやかましい。又の古のでもなが出来ません。革常の日本島監が主党は劉智に即る。

が出来れため旅客の韓送も中止除鮮励もである。仁川港に

於ける荷役が雨に纏られたのは近頃の珍那である、朝他に

川沿岸航路をはじめ内外航

ず流野に終つたので二十五日午後 四時日常議場に開催、左の仲を決

定数第五條定員。一十名とあるを

上流の水位は清風面に定て三十四

自五十五組といふ思北有史以来の一部分されてゐるが人能の被略は悉

慘たる中に哀話や美談

涙ぐましきその報告書

所に道語の決責複談の被損を罷見一度、郵流制の木の下に履てるた緒感川、原越間道路も磨く売されば、20、郵流制の木の下に履てるた緒感川、原越間道路も磨く売されば、20を乗し射近一番の田畑に流失畑

正中のこと、て 正面の 取なく 部落

時五十分清州に顕著した今般のに空を眺めながら顧路を急ぎ九

・ 一 に麻ぼ抱在住間楽者の観響機動・ 心に麻ぼ抱在住間楽者の観音を開始 ・ で醸成五十余名、登場は左の通り ・ 全員は外典報へ副會長李高額へ ・ 外二と人流派員外者婦外八名

聯合協議會を開き

最後の運命を決定

は一たまりもなく全滅しその際間

協画事務所手順の類温里では自一

局金永低記―をはり ― 荷州支管部署の山津波の跡) ― 荷州支

清州の忠魂碑

尺に遠し辺川を中心として香地に

たに本年から十ヶ年記述を<u>脚立し</u> 忠北の秋蠶異狀なし

と那些領職合の堆肥品許衡を開催 更にこれが増重学配のため道費の 須産政長に批戦を加へてゐるが、

「十五名とし五名墳員▲第十七 たため壁も単い素同、田川地方が「十五名とし五名墳員▲第十七 たため壁も単い素同、田川地方が「田地方が「田地方が「田田」とは、1000年 | 1100円 五日頃から経立唱絵の後定のとこ

「乃城」三回に及ず水橋に住える」が知って東杯で老板するのが連れ 「乃城」三回に及ず水橋に住える」が知って東杯で老板する影響 「日城」三回に及ず水橋に住える」が知って東杯で老板するのが連れ 

の日別で大島電道氏を低端した、従れ 無線主任を配置するととなり廿六 無線主任を配置するととなり廿六 したのであるが動配験がでは原理 米は腸助役が底容事がを適常療徒

傳染病蔓延の兆

釜山新病院早くも超満員

ソン大會 江華のマ

Ī

生

當局で對策を練る

**乃城川築替** 

期成會で陳情

廿日昭から各監一費に審査を開始

競談に誠望を加へることになつた「既に掲談したものは褒敬する答で「遊は昨年度をもつて五ケ年訛戦をは追奪秘部の祖令に基き徳の寡責」や益所からの掲談を經過變化し、「【大郎】際北道の進ლ既良預度計〔11月〕 和被除避のため仁川著で「ドックをはじめ市街地の空中募責 五地(で開)く

當局で細則を發表

慶北道下の

川の撮影制限 空中、高所からは絶對禁止

起表一般に出意を思へる

と揺立て、水幣の甚大な奥地に廿一 初は揺立枚数が水密のため整定の 八、九日頃となる見込である、當

雅麗をの兆があり、廿五 し駅底の法として最終内観修町を て来たので発力で緩信局に増集方天候不組のため昨今所内 同があり、附では劉策に凱を懐主 | 眠により総合場だしく楽酷となつ

不能なほど多になので多年の題深

掃立枚製漸く増加を示し 豪雨禍の憂欝も全く霧散

水同部の九月十二、三月頃を上 同社会質問を紹外教授制制映除水同部の九月十二、三月頃を上 同社会質問を招外教授制制映作上本佐の整្数四五月頃、有選可問知社的新設することとない。 有選問題 大田田田 に れが工事人 化多数数 して質問契約をなし、更 結果一宮四十百十十回で設計組末に本年代自職が正明末したので職のに終末した。近く第丁七十一月 極定を公正統一 せしむるため同 大印景行塔と共に竣工の苦

[裁論] 悲游感では廿六日午前十 馬人館を代表し大田幸で出聖へた」ら事務開始の尊定である「密難坊」止る"協議」 一角層立國影響炎、直要是平氏が一司された、有いづれる来 密職防止を協議

可された、右いづれも聚る十月か

を行ふことに決定した

作用

新總督 仁川の大分

總督聚る!と仁川大分縣人管では「一丁」郷土の響れ――われらが 縣人會歡迎

果金組甘果支所の新設が正式に認 悪では金融組合分散の窓可申請中 題沙師) 水川金超臨中面支所、四 であったが東村金融組合(解節面 村金سの関闭を期するため道理就 【大田】郡民金融機関を捕れしい

について密語した

ようこそ

一時から西部に関で自内部関係に一が南語管は南氏の野型に大流統で「合せを行った結系で、といったと、「では、日本をは、月経を改ったと」では、日本を行った結系で、「本のたと」では、日本を行った結系で、「本の 慶北金組增設

三ケ所認可

こ合せを行うた結果近く西藤側の協議を開催を記述と所領の昭備を設との協会、監論を出職して伊朝抗艦の開整部形式に對し起後の可能を行うことになった

性器の

健全に

豫|

か を使って府の一般に臨時が記さをで、 「著山」 概葉詞の歌話に聞を誤って天候回復と で、 一番では蛇山岩と共同で天候回復と で、 一番では蛇山岩と共同で天候回復と で、 一番では蛇山岩と共同で天候回復と 喜ぶ男と 憂ひに沈んで嘆く男

作用 は、たるには、なかったのである。その大学性の 歌 一つ では、 四のである。その大学性の 歌 一つ では、 四のである。それ、 一本の世であるところのなどを かったり である。それ、 一本の世であるところのなどを かったり である。それ、 一本の世であるところのなどを かったり であるのである。それ、 一本の世であるところのなどを かったり は、 たるには、 これを では、 これを 金があつても成功してで男子の生う豊富育イを

T STEEL 一、 取命が服扱されるので、 呼ばおば、 対象がないである。 思想はんで質しなる。 思想はんで質しなる。 といれるので、 呼ばれて質 て飛舞心が起り、酸金成功幸福の

から御遊風なくハガキで御申込む 明書は全部無料で設定します

は、北京のでは、日本の

### 野(Y) 0—3金 3 林平 京城東部三月里司所修道、院長村上龍村上内科小兒科医院電本

蔵猫



语野米<u>阿</u>爾奇古

提供會接以下開發存取、製造所や「移動皮質の映構をなし、これより 所式の運動は自然化し、音用荷勢、部を訪問繁體の意向を打診した上 即正せんとする郷土愛に燃ゆる条(信局、内野局をはじめ道、軍司令 【仁川】 臓測所の豆塊を樹を総対「で上城、木杵城粉局、壁粉局、殿

途はきさに遊覧し眠いものがある。問題は恐外な方面に飛火せんと削部には漸く断度大領別組を力配し

は風雨十数年街の楽観と旅院を設 め近く棚下げることになった、本

[E川] 花房町、仲町の桐の館木

三千本撤廢

「京共薨」 0 3 3 4 (公) 1 (公)

大邱局增築

敢十六本、合配三字七百六十八本

林孝順 野主報 野主報 野主報

業職新な望有ん益 責任指導 ñ

個題は廿二日午後一時公倉堂で永岡)後で計画中の自動単画職

日動車運轉者協會

月二日園の利益・連信 月二日園の利益・連信 月二日園の利益・連信 日本に対している。日本に対しては、日本に対している。日本に対しては、日本に対している。日本に対しては、日本に対している。日本にはいる。日本に対している。日本に対している。日本に対している。日本に対している。日本に対している。日本に対している。日本には、日本に対している。日本に対している。日本に対している。日本にはいる。日本にはは、日本にはいる。日本には、日本にはいる。日本にはいる。日本にはいる。日本にはいる。日本にはは、日本にはいる。日本にはなりは、日本にははいる。日本にははなりは、日本にはなりはなりは、日本にははなりは、日本にはははなりはなりはなりは、日本にははなりはなりは、日本にははなりは、日本にははなりはなりはな

度の放を以て到る處好許を博し注文取る。開始して置りますが製造開始以来先生報らく御無沙汰致しました弘明と社本・不知査部長の成績

大月から開始・「智慧や活致しました近事本年」 近極地の保地して到る場所でありますが設定別的以来品 大月から開始して知る場所であり、世大文取り 大大を受ける主要でする場合のでは、 大大を受ける主要でする。 第一つ行けに制設値太右望です。「立立記句報 に由して行する。

高人に 喜ばれる 高人に喜ばれる 金々 有望な金儲け である。 では地方を開ける場合と関連でもある。 では地方を開ける場合とは 大いに紹り一寸規模を大きく中れば月二三百回 の利益を借られる最も新しい職業である。 何は の利益を借られる最も新しい職業である。 何は では、ない。なる超されれば一切け出来るとッナッグ けませう 期は今!! 中央化學工業研究所 中央化學工業研究所

町入町

することになったので二十三日、 【通常】神仙川湿量に伴び忠遠碑

本資小

も出まる

置けてるる際でもありこの機能に

理様し名批価はつた

能来に一般した領域な経路状態を都市として著しい路底段階に進し

門院已の商工界は興輸北鮮の主要

工作常局では次回周艦の罷逃館に回なる態度に出づるかであるが西

売売めようとしてゐる

原本問題を提案し大體の意向を

直に作る証書院の百镒であつて西

業者が急激な直播増加に對し如

私につき懸念されるのは醗藤財製れてきたわけである、たとその質

会所既外設に振出すことが力配さ

関城、全州が西ルーつとある証拠

州山の哲学就認知も一萬三十圓数

一般と自然自と大差なく、大田、

であり、また月下宮境に大竜の海とするもので調査報は臀飾一名、一般に左のぶ層深の促動について力・臓を腕し合格器だけに許可するとに近土食間でやく診断所を験配しるや飲食用の地でもので、便所・入谷腹壁、女食住 二子風を可決し、ついで個胎報は ないより (2美田郷香には内岬人を呼ばす) お歌の二大方針即も産業都市、波上を図るため十月二十日から顆疫の金の水が気が関係が聴いの知るは現。 (2美田郷香には内岬人を呼ばす) お歌の二大方針即も産業都市、波上を図るため十月二十日から顆疫の水の大角側でもう態率と連絡所健康は一一次資。 谷崎神郎・蛇海及び分蛇岬 国と同学所決に門記すべき彫刻金 (11月) 気が空

現在問限付における精業税機関が

英二十四程度であり規定版の約

更に超指的に地勢、筆取、間段、 質を高能、神仏政の記加五百五十 には原衆を加へる 【開裏】二十六日午後一時から新

設業都總額三翼頭以上については

南龍所の砂管資格になってみる 質塊遊勘に着手しては如何との

注目されてある、商

開城府會 権府尹が 抱負を述ぶ

 $\mathscr{E}$ 

禮儀作法に預形も採點

メンタルテストもやる

春川署の新試み

でないとみられてある、際に優近 四百回とたりだすしも散漫不可能

翻縦の一として最近有害間にこれ

開館は西海軍上にある宮駅の重要

【靈學】商工館の商工館館所昇松|都洛立質能することに決定した、|鰹酢師|名・野糕氏|名・服成

| 突破する見込みで目下盛んに構立 | と決定した、油は一番品、糖は三 もなく。 前年より三千三百枚(六 一等記を振戦として第2するもので!

役にも揃らず領域はれた型のこと

江原道の秋蠶

水害直後に拘らず

掃立の成績は良好

想されてゐる

第一部特別經濟起資本十一年度 鰛豐漁

が當日は国内花郷街最出の屋敷が 力してゐる

発については近餐総部で低に跳訳 することになつたが工製は七萬國 を終り、近く工事を請賞人程に耐

BB 33

近く工事入札

【開拓】既報、開城黄線整路会新一のである

開城署新築

を脱却するであらう **祉更生** 水害罹災民の 住宅再建に注意

十億名の幣技閣は現地無常強密の だ、そこで総後の神だのみ…海の 四種業長式酸単に新定時長空流に 大め二十五日午前七時二十二分職 総元帰西国法に譲かけて豊遠を訴 氏の機能臨受武と慰認の大吏巡に 曹្ 一教女育部(曾 「開版」 えて行く超様の傷を慰めたならば 今月初初ぎム製造を財命の大吏巡に 曹្ 一教女育部(曾 「開版」 えて行く超様の傷を慰めたならば 今月初初ぎム製造を財命の大吏巡に 曹្ 一教女育部(曾 」との機能臨受武と慰認の大吏巡に 行くが城海の思迦は依然不満置き【延澤】漁季は日一日と消されて 则産業株式競融は新田航長等<br />
新田市のため営業中止の航艦にあった底 【咸興】「重役間の刺鞭、邪淡不振 「言一」立ては水路御光度の配理 北道では、千古月午前十二時学か生主戦加速逆にはり続に左の結婚 と神上鏡が駐手前三角岩質大を指生で戦闘などのとのとのは一日間数 湯漬食を催した なきを関するする地で、建設が見

今後のためを虚り

江原道當局の通牒

以労・便秘

配の減退:

資本金二百萬圓の

は脱穀の如く薬は長虫度の上城神

「留塞」館配路なの設立について

會寧の高女

明年九月には開校

城津で漁港祭

期成會待機の姿勢

十億名の將校盟は現地戦物旋門の

八端に虚草利用から

郡の燃料拂底

鐘紡進出に憂慮の副産物

平北道で對策考究

の如きは動脈に一歩光んじて設立 ある、北鮮における高女新政の終 選その他の具能的行動に終る指で 明年九月までには明校の題びとな 申請許に基含本版質品では新年度化し道知事から提出した認立総可 何既は道當局の基練等によつて本 **風もには常局と協力して各時主調の模様で期ば難でも認可あり次第** 爆弾にこれが無数を計上し遅くも 胎における設立方針も着々と具體

白麥製造會社

別立の水質の港なき品販売に避 ではります。 ではります地帯とでは、 はいます地帯とでは、 はいます地帯とでは、 はいます地帯との他に対して、 はいます地帯では、 はいます地帯では、 はいます地帯では、 はいます地帯では、 はいますが、 はいまが、 はいまが

■ 線を終ける過業組合調等以下の職 取しには相當は認無能のものも見安 がけれるのでこれが整理の必要を 一級の実命部は

養

上の研究によると

『夏の暑さに耐へ

**齢期向上を闘つてるながその第一** 

合語と協調して進行患生の弦面低く成典」成形水産協同では漁組線

何れもVB複合體が 體内に不足するため

留談 江本支流沿岸の低地帯では

漁業組合の

**顾**員整理

開城蔘業組合の計畫具體化

けム委員會を開

▲をの他道路の舗装、放行の部 ▲をの他道路の舗装、放行の部 及、土木の充質 生鰛の建値 近年稀な高値 

商工會昇格の要望

躍進會等に起る

全州に比べれば資格は十分

問題は負擔の増加

甘一の兩日、新部で會見
村、山崎、足切の諸氏は去る壮、
ることに決定したらしい 浦の鰮川鮨製造業者代表佐藤、西 木、天野、岩田、森野の諸氏と新 に動かされ郷遺跡端の希望を守れ、で建設することに決定、直に削立っ大きく本府も軍部の總線が襲望。脚する銀線に入り費本金、百英協の大きく本府も軍部の總線が襲望。脚する銀線に入り費本金、百英協会とは、「神神

制作中の自塞耐造株式館様だ立に第級型流型一致東部した後かわて

成興師範の **器附金** 

新事業の本質を徹底せしむべく<u>勢</u>一

三角氏講演 【経典】成一るものとみられてゐる

を贈り早晩何れかの形式で哲場す

脚氣の機態等が微増する』と致へて居りますらず、これを無視するから極々の胃腸障碍や

B複介體の補給を必要とするにからにわ

これに對して、平家の二三倍から敷倍す

ためエネルギーの消耗率が急角度に増加す

の健康

先づ不足したヴィ …を保持するには なる自衛手段(附近に完全な遊遊なる自衛手段(附近に完全な遊したる者を表情を必要とする者に関してに調査作成の上却由をより、大きないのでは、100円のでは、1

四 必要に関じては整理、最勤も監 行せねばならぬ、と同時に天下 もと他員からの被途や内峰人理 邓の接分なども合連化して行か おばならぬ

平南四郡の早害は

豫相以上に走人

土木事業や副業で更生圖る

當局の窮民救濟策

て、胃腸内を常に消涕にし、病情繁殖の餘弱らせるととなく、鬼則的に臍外に排泄されるととなく、鬼則的に臍外に排泄される。 めて流資分はどしく、血液化させ、不要分 ミンB複合體を充分に維ひ、食物の消化を

なからしめて置くことが必要です。

藝妓の試験

盟の証値は四國とす▲その後の「世代争七十六線鞍部野中佐以下五」方法を論することになった。
「現本始業から八月廿日に至る生」「現地『戦術[議]等」「真常」 委践館を聞き組織に職する長渡的「国」の府日、新浦で會見 で建設することに決定、直に削立

残るは二割

門議場に参加各等集員の関係を持 を終ることに決定した を注言本月末までには一切の處理| のるのであと<br />
一側の取締めに全力 用込を整理したもの人則に達して 【威興】城與師節皆附金弥集實行 上語り今後の軍を構織したが既に は二十五旦役人時から脂胞 し早邦戦所の創程として早朝の程。かり大響をあげたので推は道太の「より過苦有利に撤促されるものと「生物」平角道では光般各郡に国」れかいつたところな遠は泥酔とば「に比し結説を望してあるので昨年

鮮滿連絡電話 開城の工事 といっています。 こうまでは、これによっています。 こうまでは、これによっています。 こうないは、これによっています。 こうないは、これによっています。 これによっています。 これによっていまたいます。 これによっていまたいまた。 これによっていまた。 これにま

に引立てたがそれでも飽きたらず一利立三十五局年を迎。たので記念

ンB複合體と各種酵素との協同作用によ

錠が好適です。これは强力ヴィタミ

庭又は<u>頭腦を過労 ける人</u>

分泌を旺んにし、食物の菜養化を助成し り、胃腸の組織を丈夫にして、消化液の

の血液を滞化する作用があります。

一動勞階級の人々が、活動力を維持す

[無城] 昨今版内に赤朝と陸桐が は略聴機から事質局出提所先まで 下総典器は部別の工事既に完了。【開城】総合省の鮮崩埋結盟諸地 別で請介ひ去る十七日越工十月二 町芹原代一氏が上世五子二百八十一 十月までに練りの限定で工事協成 は少く中間部と学址部が敷削以上、たので南人は直ちに進力に乗り込 (南親の大門族に着すした内に成共にかく中間部と学址部が敷削以上、たので南人は直ちに進力に乗り込 (南親の大門族に着すした内に成共に敌大た被害を戻り中でも江西、 入祖を授締で勝むし更に自宅に引 支部の郷南はは平五百十七名 に敌大た被害を戻り中でも江西。 入祖を授締で勝むし更に自宅に引 だしく対現すべき野がおいので道。同土で豊る豊多の祭行を加へ治院。 起始、平成、中和の四部が最も描、ずりほうて降近所のキリスト信者 所、衛、際通、常山の四郡は

が子の結果如何により数階方針を日山田故師を前記四郡に記道した に続いては質地を競手べく廿五 いてることになった、数弦気は土

この程度はした

減退や疲勞、便秘、睡眠は飛などの防止なためのエネルギー源として、又食慾の

正んに質用される所以です。ユビオス錠が健康者からも病弱者か

關北庭球大會

廿日間を聖する傷を興へたことが

他の禁技、眼舞、常識等である。

城津の

近行し一日に十四、五名も誕生し 約二キョである

防護團

傳票買ひの

弊風を

救窮事業の人夫賃

支拂ひ方法を改善

結成式舉行

委造四名以上出歴の上試験するこ

とになってをり試験科目は

赤痢と疫痢

開城に流行

による数浜策を目指してあるらしく出来るだけ警長の自力更生 不事業を起す一方副業を短酬する べからず 女に戯むる 秋繭の 恒基協定

昨年よりも

(金成端四一一二 (統英度 (全頭地)---(編題

(金融報四一〇(全原技

兒島知事披露宴

した | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 【蔵異】秋脳の質格協定のため九 有利の豫想

総大な結成式を繋行、歴に近く時(最近山地帯で道路散修工事中の架) があり自然構造質ひが現はれ一大、日午後七時半点事務的標上で、のありと即込んだ戯用土木織では、「一次のナナ五日構定との不都合機能でも遺版状態増中のところ二 大震支援状況の極めて不鑑賞から、「一次のナナ五日構定との不都合機能でも遺版状態増中のところ二 大震支援状況の極めて不鑑賞から、「一次のナナ五日構定との不都合機能でも遺版状態を見つ、あり「一次のよう」での複数上での複数を開発した。

臨津江刻々增水

農作物の被害甚大の見込み

江岸を嚴重に警戒

各地に防鬱圏の結成を見ついあり 祭を読れ」のスローガンをかざし は側に砂っ十九節殿管下院を蔵習

問題に光立ち軍民一会、『北郎の 「塩澤」来る九月十七、八、九の三

長端個人 九化公設コート 《庭球大會-

管注 意 副賞を贈呈

賞品 本社優勝カツブ外二等まで

日 八月三十日午前十一時から 年領補助、中食提供、本社院製タオル帰皇参加料は一組一関▲出場選手には自動車資車込は二十九日までに九化底球供奨部宛▲

- 後援 九化庭球俱樂部-

出した大量となってるる。また金古一山間、酸な水白間の平野は全部設本し、原作館の核配設大の金村市街長水 数十戸設水し坡州部屋町倉庫は水中により江南部の金町は大田町の水面観客有線的近の屋町

世代語と述水が出土日朝は重に増水し日下春歌中であるが趣趣期にある間作動の披露は起大の見込色は語り十五日からの原明は世六日似に至り飛び顧問となって配理江の増水は卅尺に第し語学の田(建語)十五日からの原明は世六日代第一語学の田

衛生状態を究明せんとする保健調

一成與二成市版生調が山農の保健

脳南の試み

保健調查

甲山那野天面保田里高林祠の草坪丘はいよく人九月五日から一週間

▲三輪成北島等選技、平野地財際、房山財房主事、川村圏、知長、房山財房主事、川村圏、知 節性の豫定 域へ、即日島任 域へ、即日島任 域・大阪河野東新長 一十七月開 村成北支局楽前 ■と記録一氏(成北道歴務課主席 本下少將 羅用回留中二十五日 の動き 土土館製

東資用務海内市で対策表式を発売します。 粉末 も あ り を輝する小田子及びエピメスを見本は左記 一〇○○総……回・八○ <競粉としての麥消酵母』 ○○○総……・・六○



ドン、ソバの類は、二

パン・麺類

めし・粥食

大根·牛蒡 甘藷·里芋



同じである。普通の飯 但し愛食の消化も弱と 四十五分で消化する。 る。朝食は煙か一時間 順化の早い品はパン





る。川魚は海魚より消 単は三時間ぐらの交要 こる。 潤た魚の 焼いた



生態内弱肉のスキ髪 「煮でたべる」は割合 ピフテキにすると、四 三時間未滅であるが。 以上の消化時間と 時間四十分より に利や劣る位であ



卵・スープ

卵とスープは重病人

焼地にすると三時間十 時間半で記化するが、 が、即は半熟卵だと一 の心語品となってゐる 分を要る。生即はこ ープに見る一時間弱

しても澱粉質、乃ち米や野菜」こなすためつける以上、たべた食物を『蛋白質は別とる品が多數にある。いやしくも胃膈薬と名の品が多数にある。いやしくも胃膈薬と名 化力」でらゐはあるのが當然と考へるが睡液の補助としてヂャスターゼの作用「

い品をえらむのが緊要である。 つて病人精弾なるものは、消化の速でかつて病人精弾なるものは、消化の速でか



健康なる胃の場合

海軍軍醫大佐

頭 別れたいが、全が言ふ傳動館なる熟賞は 歌 お ちよつと一般人には了解ができないかも 別記の度を増す作用と、自動館に消化を居める作 自動館に消化を居める作 自動館に消化を居める作 自動館に 他感動に 他感動に 他感動に 一種 物 消化の度を増す作用と、 

Employment of the Broads of 協は、素人でも試せる糖化力の試験方法化學的所見としてもといのであつて、よ

炳弱

NN | P - | 68

で、叉も水の脅威

数の船駅避難してある。

事その他話で事は連出の陸雨で同

行中の南山関金道路が高い一事、例とるんごで金銭は東タクツ1

「夜京城駅から兄先に一自分は東京」 等を挺て七年後に鉛幹するから自

へ出て飛行衛を埋ひ、大連、瀬京

つてゐたといふことを信じ二三の 期門を研究後東京音楽は校にも通

**放人にも謎つてゐた、結局、行き** 

つた、これがため同六一番地の民

先生と生徒の 防空防毒講習

家も顕微の危险があり、屋下六戸

水防樹が無形にはつてゐる

で一週間に亘つて京城第二高女

小岐年百四十名)と三坂小県は

小野圭次郎山縣·英數學館 著 切 晴二縣 英數學館

が通原校生徒百七十名)で明備

交初等學校政政の所名、院

の遊戲手をしてるが大きる十七日

一数ヶ月前から若い金石と同様生活

六五番地楊幡、外の府家異観で高

出た、同名では同解して事情を調

建築金物

盤加

饵商

加藤商店

※ 京日案内

一十七日午後五時的京城元町二の一廿七日朝東大門署へ誤ながら諸

崖崩れで二戸半壌

年 前 空 丘、 央北等域域の平域段

旅館開業

案 并 简 屋

安東五番班二丁目

城町土木課及び整牌係で目下施

陸間により各河川は再び氾濫しつくあるので京畿道では再び水防酷を組織し英金を期し待機。は中七日午後次時まで制明した役

さく夜八時遂に各署へ遍牒

住じめ廿七日午後九時に至つて旭。賽成中だが同年後七時現在旭山管

|城旭川及び渡江の水位は交昇り||版いてゐるので渡江流域の住民は

龍山浸水戸敷増す

漢江は刻々増水

意味の手載を出したぎょ行方不明 みられてゐる

になってゐたものである。女の甲

全國中等校陸競

半島選手氣を吐

3 ℃ (海州品費) 十三米九二 5 판 (聚基镁德)

寧邊、培材、養正

位旭川十一米二四、人道橋九米九一計三百九戸にのぼつた なり武殿の洪水騒ぎの時の最高水 上九十三片、屋上七戸、倉原十戸 川九米四三、人造猫下七米九三と一四の茂水家屋は床下八十九戸、床

に経近して来た、何はなは時ち

事故の未然防止に努めよ

數日前來礒州により各河川再び氾濫しつくあるが、京城洲候所の觀測によれば

開機制するものも如く遺骸來の降雨により胎盤は極度に強みを生じ

肺間約十二、三センチ増水しつゝ

は孤立と

15

日夕知光が短雨とたり、海上は大

の疑問があり、各個川は解水し、

地に最高二三七ミリ、最低五ミリ

展設水、道路狭道など相信ある見れのため眺死したもので、其他家

を総行。この日は順天ながら雨あ 上高智、新潟師節を光頭に入場式 辿り場に於て限行、午後等時半進

◆韓恒投

超程は時間には去る三月二十五

女中三名意名用

健康二十歳以上三十五歳迄本

遺族に餘榮

故自衛團長の

使用は危険!

赤毛が黑髪になる

大家 政権部方小人数、正の内地人を支急求む 性名 在 社

日曜戦の来迎を受け名場の職死を

出げた平北昌城署等下大吉自衛隊

※綴を主な物としてゐる日本人の帰真に一番ビッ邦学の馬川大宗も口を握へて激賞、極力作頭した。 型芸術にも色々有りますが、程度の差こそあれ全 型芸術にも色々有りますが、程度の差こそあれ全 型芸術にも色々有りますが、程度の差こそあれ全 である。 を表表してゐる日本人の帰真に一番ビッ を表表してゐるとの日本人の帰真に一番とか。 を表表してゐるとの日本人の帰真に一番とか。 を表表してゐるとの日本人の帰真に一番とか。 を表表してゐるとの日本人の帰真に一番とか。 を表表してゐるとの日本人の帰真に一番とか。 を表表してゐるとの日本人の帰真に一番とか。 を表表してゐるとの日本人の母。 を表表してゐるとの母。 を表生してゐるとの母。 を表表してゐるとの母。 を表表してゐるとの母。 を表表してゐるとの母。 を表表してゐるとの母。 を表ましてゐるとの母。 を表表してゐるとの母。 を表表してゐるとの母。 を表まして。 を表表して。 を表まして。 をまる。 をまる

第水」は有名な名國祖被桃仲翁の<br />
週方による **ジーてゐるものでなければなりません。** 主劑は白毛や赤毛を根本から珠黒の楽量にす

英間 部女子一名急略子名 こと 京城附近の町三丁目一六八 こと 京城附近の町三丁目一六八

女

長故朴吉謙氏の姿態ならびに選

(塔材品質) 四五米六九

6宋(淮州高智)

廿六日から廿七日に亘つて豎南各 | 死器六名、資妨者七名側れも山崎

馬山晋州間列車不通

これた 釜山地方の 天候は、二十七 ※山川市 贈風更来で題念され

颱風來で大時化

尿城、纛島⇒軌道不通

七百名避難

水位まだ大丈夫

日本海に出た模様である。この量、耐止を供領してある怪しい男を東

たりたがら城大附屬原院郡形外科 廿十日子数三部が明いといる間に

脚に周月後また飲入して今世に附 世、廿二日午後二時頃また飲入今 当

身元らしい

月東洋党産の成から位心通りに版「第一四二號(強調手李容等)が起い廿七日午後六時頃気城議州通二丁一大門変叉艦から季子町へ行く電心

|第一四二號(巡察手手容器)が退||った、政務船監の追悼の際を面

一知名士多数参列し非常に盛大

さく夜義州通の事故

性を折つた。電車に飛込んでみた一治氏などの追悼の離があつた、

島産業界に残した偉大な功能を個

(新興は散品田様作翁)

ーボールに流突、コンクリートの 人組代として有野光照氏、

ところを有機がに使見され当走、 能器形外科に収入し場かんとする

犯行ではないかと引続き取調べ中 遊職事情が選生したが設は同人の

大門深刻が調べると、京城競西町「て原目、廿六日午後三時半城また」た心中死婦は彩だ浮き上らないが(近城事文一男)に近極遊行中の西「町は前部を武装資金にしてセンタ「本社々長の遺憾の際につといておが近き豊間してある怪しい男を鬼「度は人能監督権威絶氏に離尾され」「ターボートから無然と変を消し、み出た安慰の神中震場のトラック「突、トラックは後半部を削壊、電「課長が代謝し、態節背背段、時度

風が去れば朝鮮は一般に天気が飲 何南道を辿過して鬱隆島の機から

信を持

邦樂舞踊のタ **曾員券發賣所** 

名流邦樂と舞踊の夕出演者

東京を出發、けざ入城

| 2011 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914 | 1914

明後認識が常整型に買けじと、す

部情を探げて来たが、相手の朴野

京城長奥連中で組織した長

二日間二席を占領したいとの

七周忌追悼會 故富田儀作翁

脳女魔闘玉さんごむは、去る二月

公城微陸町二五九飲食店村里明

属女を泣かす

ナニ日周家に確はれたが王人のこ いふので暮んだ際玉さんは今まで

日蔵邦築と舞踊の夕々は総上廿一人気旺んで雨日とも各方面から

後六時間里、同一々語見の申込があり廿

が架と舞踊の夕」の出面者一行二 一名は、二十四日午後九時東京

の大好きなのですから根限りやの大好きなのですが、私のむつかしい雑謡劇ですが、私のでるにいれていると思ひます。私のやる

**一十分削期等に副ひたいと思つて** 

南近郷は左記の製器Eで制資用で すから早く組貨水め下さい 本町一 日本製盤出版版 エサレ製器と

めた、なは撮影は電心が称三百回 開の中を徒歩連絡したが混雑を極 は約三時間に配つて不通となり、 つたが、この事故のため義州通識 つただけで他の派者には異様なか 京電の荒木配督が左手に徴仰を貢

悪い若主人

台は水散型校に避難してゐる。 な

▲關州七米二五▲人道碼八米▲ 千五百の避難 来八○▲加平六米六五

十八日の回はまだ雨が降るが除る

所では四次所長、作田宮子外間所

に助れる見込みである。仁川觀測|陰院に思っを扱つて入り込み来診|徘徊中がはれたものである。前同 |復する見込みである。東仁地方は||一一九朝将五起指物大工金真用。||同科に岐入したが観見されて大金

こで今春雅務所を出ると城大附屬

に終るや今匹こそはと廿七日的近

トラツクの出鼻に

中の京城西小門町一三〇崎川ヤス

算報係を記到はして野散中である 子さんのハンドバックから現金计

城大醫院で

題は風迎州五米、中心示政七百二 且午後八時水浦は風潮卅一米、

ふので既成してみた幽風は、愈よ 南鮮に颱風 歌ったと思けれる、この幽風は歌 ものであつた、これがため木浦、

流地水し、同九時辺光段水素駅谷浦は二十七日午後に至り辺江

風速三五米、示度七二七ミリ

慶尙南道は相當損害の模様

(語材品質)

**鬱陵島横から日本海** 

がし、原則能々強くなる模様なの 学 風想 子米乃至二十五米を

意実き扱け次第に指近しつつあり 歴紀在の観劇では、動風は海州島 | 約三キロの地路、鉄道線路は長さ 因め列車不通となった。この他計 安那郡北面隆直入口の土種朗洪の

これがため関金線進水験より東方 込なるも目下調食中である

北西の風間後 けふの天氣

-金融器(塔材品質) - 東原梁(京教院徳)五、砂七

難合殿合質では組合品態の四一

所以を婦人側から母組せし

共に指領々死を遂げたものである 盟際に観察された原中西餐部側と 氏は同日大吉能在所が百五十名の

とするもので、婦人の組合証

婦人講習會開設

先づ家庭に金組教育

**2**版 (発正点型) ∵四米七三 4白 (同) -培材品幣(印、金、林、李)

及総成のため、予報合内に地方が する切ら、融合型で家庭文庫を取 する切ら、融合型で家庭文庫を取 する切ら、融合型で家庭文庫を取

部に定期の婦人職務師を提送する。名義の建郷を項に政権にして数自即裁して来るよっ月より観合領名。今春以来舞なな婦人を相手に他人近く継行する観告領籍級三尾手を「袁城漢大門を司託保管は十六日後近の機関を 局者が消穀經濟を主眼とする組ら優良婦人代設を集め、本部常同議習會は各地方組合婦人會か

調べ中間の犯人四名を機器で

京城東大門智司法係では廿六日夜一 サギ窃盗横領 學は四周五で加山中學に凱歌があ

ラウンドで浴夫商業別配山中學か

運動に移つたものである 球職は十七日午前十時から國際グ [美天特] 鲜端中等學校開放解 鮮湖中等野球

大学、10世界に対しています。

「大学、10世界になります。

「大学、10世界になり 杵屋號株式會社

年金 特別立替

特别睾丸

中内地人奥女中を求む

養料毛水

利國庫債券 (は號)

億 九十七圓五十錢

國面百圓 [4] 「現金應募 九十七圓五十錢 回 [1] 「東換應募 九十七圓五十錢 [2] 「東東 [

庫債券

城

店

京

れば、只ごとではないと思った母

御座いませんのよう

ローの解子を終に被つた一般何級側には離子と、ハイカラなス

其の型にゐた」まれのもの」やう

ません。貴女方の中何誰かはつき 方の人と連絡があるには相違あり

「何と仰しやつても浩介は確に此 **逓子は、此の場の成行きに胸を**慄

「ホ、、。既様、私共にはね、山

同八時五〇分(東)物語 芸小小池

も知れないと思った世紀は、立

、今日は脚古は休みの害だが、 腰間から若い女の繋がした。オ

本紙一萬號記念懸賞小說二等當選





(金曜日)

同式時三の分(東)英語ない地面。第一放送



_		誰	1,15		
ŕ	4		44	持騎	4
	•	MORRELL LA	a	Sino	
-	-		/s	v In	
	201_2444		1.7	マ加藤氏	
-	桂			飛步じッ	-
_	4	- V	'		
	X a	V L			

华	季	拝		金	
	4		no comple	王	
マ子作氏		聚		#	
Δ	步	步	步	쟓	
1				銀	步
-	eteria, mar				
			桂	步	角
			王	銀	
	稥			金	6
•	feet	- "	7		<del></del>

店上 挿話

一私、此方へ同はうと存じてゐる歯 一線返しながら、 世親は 縦側に手

町から鎌紀がになつてると信じま 宅のことです。宅の浩介がずつと

平行

六風▽平 四段▼加

御らへにたれば軽っことだらう

子供と母の

弘田。太郎

佐々木よぐる作曲 久保田 智 作詞

う足にみそろへて ハタラララタコ Hなら富士の園。行かうよ、行か

同七時一分(東)例の修辞中江同七時(今日の天氣見込 逃軍ラッパ進めや進め、坊では大

の八幡船一件 伊藤小左衛門 |史蹟巡り(3)-

◆……」のば江ん草門、即ち 增出服吉

松浦家にはには慶野二二年強國皇一たいと思ひます原願小左衛門につ

八段金 易二郎

んで二人は山へ来ました。

ある日の午後小父さんは二人 ントをはってキャムブ生活で

ホンポコ姉弟で キャンプの一

「こわくないで、おんなさん」 ボコ助君は即鹿に否へまし

島なら眺の島、行かうよ、行かう 昭和、昭和、昭和の子供で関連は ら日本時、行からよ、行から足な一へ優をのどの便ぞとてゆる鍵だち 藤樹先生と其遺訓(四) 元頃なからだみなぎる力、島、島

やのお与もキュービーもつくける 將デッテチッテチッテタ、おもち 趣取ラッパ態めや態め、場やは大

いやだよ姉さま笑つてばかり

駅系の床の上。腕がたしく狭腐に「て、霧の玉里かかる身の、おもひ。 いざく 入硫うたんとて。たれて「空間ましき月粉の郷の敷に映るひ 梅若六郎外

人に紛れて、衝撃跳をやつたとい

関

影を行つたとい

な

服によって

平

技に今日私のお話申し

きましては既に大正松の戯曲、博

**むちして。病の床に臥泥みつ**ひに

一人はドンノ

と肥後の雁画山 鈴木 号 扇六時二五分(熊)趣味楽座 史

河方 (二十四) 村岡 村岡

ニュース 天氣見込 職

原原 吹平

ンプの一夜、テキスト二〇ペー

子供と家庭のタ 大阪ラデオオー

4九日古、物

かや八次に潜つる松の聲。次におかや八次に潜つる松の聲。次にお

りからや。頃しも秋の夕つかたへ 後寒を風や知らず らんへ皆づれの稲 を概念る。夜ずがらかな無場前く

昭初、昭和、昭和の子供上鉄道は

にして。月西に能るで、蘇武が底

て給ふですべ思はじとなふ意もお りあるまじきにて映べ想めしやせ るにっさてははで既に辿りは の題る」なの花こ

第一日 元山四日 第一日 元山四日 行名古屋 — 清水 门名古屋 — 清水

(語) 一個月一個島 日 (川) 日 安港 一種第一種門 一種記日 元山元日 日本浦日 

司る卵胞ホル

國際標準品に全く一致せる結晶性製劑

可修业區東市阪大 店商衛兵長田武器 元 麥

可木市京皇 店商者 兵衛 西小 能够 安理代章團 町倉大市崎市 所究研究器議社園帝 監督 众 遠 昌

生お版 育、至育、千、一貫、無英草位わり。(五百草位) 10年(1四年) 10年(1四年) 20年(1四年) 20年(1四年) 2年(1四年) 10年(1四年)

童

36-880(0)

謝をたかめ、以て女性の健康を保護增進せしむ。しめ活力减衰せる諸臓器の機能を賦活し、薪陳代しめ活力减衰せる諸臓器の機能を賦活し、薪陳代明なる卵胞ホルモンにして、卵巣機能を活潑なら要なる卵胞ホーンは女性特有の機能を發現せしめる耳

女性神經衰弱、憂鬱症、月經痛 初老期(月経閉止年齢)の頭痛 心悸亢進・四肢冷感・視力減退

炎熱と愛見るあせも水製アセモローン

ヨンの威力!陰影響により

乳汁の分泌不足にも賞用せらる

獨突曲、秋、石油水 ろ、老断部番たる岩 八幡宮の山深さとこ **定額:「原来の定割の思の後、砧に、きまルテルの悲しみ」こでは、ゲきぬた、怨めしかりける、「原来の「作説の問題で言つてゐますが「若された人、打てやく」と、繋の「弘は覧めて重めた」と作者はこの** かられば、占は却つて、火焰となーテ自身が汲の過去の慰愛生活の

れた作品はありません。有名なフ 構は、ゲーテ目母の性格であり、 

した。エルテルが振奏に駆べた手さんに明潔して頂くことになりま 

**账会式林业区同合港**基

大阪商船住工会社仁川代理店住工会社一一番二十一番八四十二番(出布)工程(70年)